

阿南安芸自動車道 な は り あ き 奈半利～安芸  
第3回 説明資料

平成31年2月7日

国土交通省 四国地方整備局

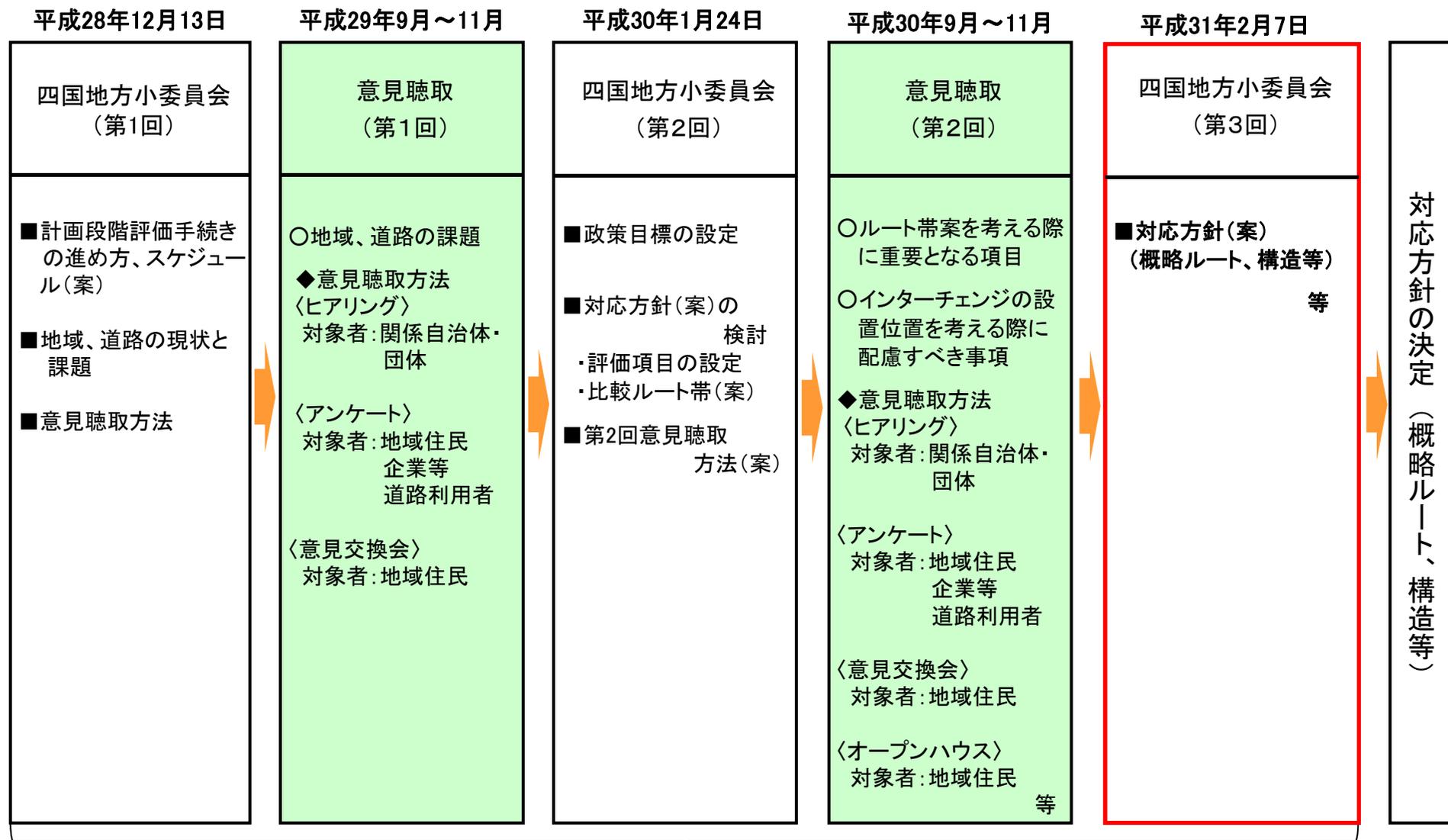
## 目次

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)・・・	2
2. 前回の審議内容	・・・ 4
3. 第2回意見聴取の結果	・・・ 6
4. 対応方針(素案)の検討	・・・ 24
5. 自治体への意見照会結果	・・・ 34
6. 対応方針(案)のまとめ	・・・ 41

## 1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

# 1. 計画段階評価の進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



※各段階で随時自治体と調整

## 2. 前回の審議内容

### 第2回四国地方小委員会の概要

■実施日

平成30年1月24日(水)

■主な議題

①第1回意見聴取の結果

②対応方針(案)の検討

③第2回意見聴取方法(案)

### 第2回四国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
5段階評価における1.「そう思う」～5.「そう思わない」の数値表現については、日本人の心理に合わせて「そう思う」を5とすべき。	第2回意見聴取方法(案)の問2について、1～5の数字を選ぶ回答方法から、該当する選択肢に○をつける回答方法に変更しアンケート用紙を作成。
「早く開通すること」は、事業化後、整備に必要となる時間について聞いていることが分かるよう表現を工夫すること。	工事着手後の整備期間であることが分かるよう「整備に要する期間が短いこと」という表現でアンケート用紙を作成。
「国道の代わりとして利用できること」については、現道改良を望む質問か別ルートを望む質問かを判断できる問いとすべき。	別ルートを望む意見であることが分かるように「国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」という表現でアンケート用紙を作成。
政策目標の項目と道路整備に配慮する項目は分けて意見聴取をすべき。	「ルート帯を考える際に重要と考える事項」「ルート帯を考える際に配慮すべき事項」の2つの質問に分けてアンケート用紙を作成。
ヒアリングの際は地域のまちづくりの方向性も含めて聞いて欲しい。	まちづくりの方向性や道路整備により期待される将来像を含めたヒアリングを実施。
30～40代の起業を考えている世代から、ヒアリングして欲しい。	商工会議所(商工会)の青年部や、青年を中心とした活動団体、及びサテライトオフィス等へのヒアリングにより、青年世代等の意見を確認。
ヒアリングやグループミーティングでは、模型やバーチャル映像、他地域での事例等を用い、住民にとって分かりやすいものとして欲しい。	航空写真にルート帯を表示した3D画像を作成し、オープンハウスや意見交換会の場で、パソコン画面やプロジェクタで投影し、視覚的にイメージしやすい工夫を実施。

### 3. 第2回意見聴取の結果

### 3. 第2回意見聴取の結果(意見聴取の実施概要)

○意見聴取は、説明会(オープンハウス、意見交換会)を開催し、アンケート調査及びヒアリング調査を以下のとおり実施した。

	対象者	実施期間	回収方法	実施概要	回答状況
アンケート調査	地域住民	平成30年10月 2日 (火) ～10月22日 (月)	郵送回収	奈半利町、田野町、安田町、安芸市の全世帯に配布 (11,412世帯)	回答数: 3,115票 (回収率: 27.3%)
	企業等	平成30年10月 2日 (火) ～10月22日 (月)	郵送回収	奈半利町、田野町、安田町、安芸市の全事業所、及び圏域外のトラック協会、運送会社に配布(1,498事業所)	回答数: 429票 (回収率: 28.6%)
	道路利用者	平成30年10月 2日 (火) ～10月22日 (月)	郵送回収 ヒアリング時回収	道の駅: キラメッセ室戸、田野駅屋、大山、やすにて配布 観光施設: 海の駅東洋町、海の駅とろむ、ジオパークセンター、廃校水族館、モネの庭マルモットン、北川村温泉、中岡慎太郎館、奈半利町物産館、なはりの郷、岡御殿、輝るぽーと安田、安芸市観光情報センター、安芸市ぢばさん市場、かつぱりにて配布	回答数: 1,872票 郵送 : 581票 ヒアリング時: 1,291票
	道路利用者 (WEB)	平成30年10月 2日 (火) ～10月22日 (月)	WEB上で回収	土佐国道事務所及び周辺自治体のHP上にアンケートを掲載	回答数: 69票
ヒアリング調査	自治体及び 団体代表者	平成30年9月20日 (木) ～11月 1日 (木)	インタビュー 形式での ヒアリング	【自治体】 高知県、高知市、室戸市、安芸市、香南市、南国市、奈半利町、田野町、安田町、東洋町、北川村、馬路村、芸西村、及び徳島県、阿南市、美波町、牟岐町、海陽町  【各団体等】 トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察署、バス事業者、農協、漁協、観光協会、医療関係、県・市町村から地域代表として推薦いただいた地域の活動団体  【移住者】 転入支援団体及び紹介していただいた移住者  【県外】 大手旅行代理店、アンテナショップ、県外事務所	【自治体】 18自治体  【各団体等】 45団体  【移住者】 4人
説明会	地域住民	平成30年10月17日 (水)	—	奈半利町の住民の方を対象に意見交換会を開催。	参加者: 36人
		平成30年10月26日 (金)		高知県立安芸桜ヶ丘高校の生徒を対象に意見交換会を開催。	参加者: 25人
	地域住民 道路利用者	安田町 平成30年10月11日 (木) ～10月12日 (金)  田野町・安芸市 平成30年10月11日 (木) ～10月13日 (土)	オープンハウス	安田町、田野町、安芸市の住民の方などを対象に説明会(オープンハウス)を開催 安田町: ローソン安田町唐浜店(のべ2日) 田野町: 道の駅田野駅屋(のべ3日) 安芸市: マルナカ安芸店(のべ3日)	【安田町】19名 【田野町】82名 【安芸市】79名

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケートの広報状況)

○新聞広告、ポスター、ホームページ、Twitterにより、アンケートの広報を実施した。

#### ▼新聞広告によるアンケート調査の周知

○高知新聞(平成30年10月11日(木))

阿南芸安自動車道 奈半利～芸安間 における道路計画に関する 第2回アンケート調査

阿南芸安自動車道 奈半利～芸安間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見を公開させていただきます。道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いします。

**アンケート内容**  
ルート帯(案)\*及びインターチェンジの位置を考える際に重視する点について

**アンケート対象者・実施方法**

対象者	実施方法
沿線住民の方	・市役所、郵便局より配布 奈半利町、田野町、安芸市(全世帯に配布)
沿線の事業者	・郵送にて配布 奈半利町、田野町、安芸市(全事業所に配布)
その他の地域にお住まいの道路利用者	・周辺道の駅等にアンケート用紙を配布(※) インターネット(WE B)アンケート

**アンケート期間** 平成30年10月2日(火)～10月22日(月)

**アンケート用紙を配布する道の駅等**

- 道の駅 東洋町(東洋町)
- 道の駅 キラッセ屋戸(室戸市)
- 道の駅 田野駅屋(田野町)
- 道の駅 大山(安芸市)
- 道の駅 やす(香南市)

みなさまのご意見お待ちしております。

#### ▼ポスター掲示によるアンケート調査の周知

○道の駅 田野駅屋

阿南芸安自動車道(奈半利～芸安)における道路計画に関する第2回アンケート調査

**アンケートを実施しています。みなさまのご意見お待ちしております。**

阿南芸安自動車道 奈半利～芸安間の道路計画の策定にあたり、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見を公開させていただきます。道路計画に反映するためアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いします。

**アンケート内容**  
ルート帯(案)\*及びインターチェンジの位置を考える際に重視する点について

**アンケート対象者・実施方法**

対象者	実施方法
沿線住民の方	・市役所、郵便局より配布 奈半利町、田野町、安芸市(全世帯に配布)
沿線の事業者	・郵送にて配布 奈半利町、田野町、安芸市(全事業所に配布)
その他の地域にお住まいの道路利用者	・周辺道の駅等にアンケート用紙を配布(※) インターネット(WE B)アンケート

**アンケート期間** 平成30年10月2日(火)～10月22日(月)

**アンケート用紙を配布する道の駅等**

- 道の駅 東洋町(東洋町)
- 道の駅 キラッセ屋戸(室戸市)
- 道の駅 田野駅屋(田野町)
- 道の駅 大山(安芸市)
- 道の駅 やす(香南市)



○道の駅 やす



#### ▼ホームページへのアンケートバナーの掲載

○土佐国道事務所

土佐国道事務所 tosakoku 国土交通省 四国地方整備局

第2回 阿南芸安自動車道(奈半利～芸安)に関するアンケート 実施期間 平成30年10月22日(月)まで

ご協力をお願いします

#### ▼市町村HP・Twitterによるアンケート調査の周知

○田野町HP

田野町

第2回 阿南芸安自動車道(奈半利～芸安)に関するアンケート 実施期間 平成30年10月22日(月)まで

ご協力をお願いします

○国土交通省 土佐国道事務所 Twitter

国土交通省 土佐国道事務所 @mit\_tosa

阿南芸安自動車道 奈半利～芸安間の道路計画策定にあたり、地域にお住まいの方や国道55号を利用されている方などからご意見をお伺いし、道路計画に反映するためのアンケート調査を行います。下記より回答可能ですのでよろしく願います(回答約5分)

アンケートはこちら→[route55.jp](http://route55.jp)

第2回 阿南芸安自動車道(奈半利～芸安)に関するアンケート 実施期間 平成30年10月22日(月)まで

ご協力をお願いします

第2回 阿南芸安自動車道(奈半利～芸安)に関するアンケート 実施期間 平成30年10月22日(月)まで

### 3. 第2回意見聴取の結果(ヒアリングの実施状況)

○自治体や各団体及び道路利用者、移住者へインタビュー形式でのヒアリングを実施した。

#### ▼自治体・各団体へのヒアリング状況

○JA土佐あき本所  
平成30年10月19日(金)



○安田町社会福祉協議会  
平成30年10月17日(水)



○中芸広域連合消防本部  
平成30年10月9日(火)



○みなと未来会議  
平成30年10月9日(火)



#### ▼道路利用者へのヒアリング状況

○海の駅東洋町  
平成30年10月13日(土)



○道の駅キラメッセ室戸  
平成30年10月13日(土)



○道の駅田野駅屋  
平成30年10月14日(土)



○道の駅大山  
平成30年10月14日(土)



### 3. 第2回意見聴取の結果(説明会(オープンハウス)の開催状況)

- アンケート調査の実施にあたり、地域住民の方などを対象として、奈半利～安芸間の各ルート帯案の計画内容やアンケート内容についての説明会(オープンハウス)を高知県田野町、安田町、安芸市で開催した。
- 説明会(オープンハウス)の開催にあたっては、案内チラシの配布等により地域住民などへの周知を図った。

#### ▼説明会(オープンハウス)の開催概要

地域	開催場所	開催期間	開催時間	来訪者数	
田野町	道の駅田野駅屋	10月11日(木)～10月13日(土)	10:00～17:00	82名	
安田町	ローソン安田町唐浜店	10月11日(木)、10月12日(金)		19名	
安芸市	マルナカ安芸店	10月11日(木)～10月13日(土)		79名	
				合計	180名

#### ▼説明会(オープンハウス)の周知

**阿南安芸自動車道【奈半利～安芸】第2回アンケート**  
**オープンハウス(説明会)を開催します!**  
 道路の計画やアンケートについて説明パネルを展示しています。

**アンケート実施内容**  
 アンケート内容  
 第1回目にご回答頂いたアンケート結果や第2回アンケート調査の内容について、随時ご説明いたします。

**説明期間**  
 【パネル展示期間】 10月11日(木)、10月12日(金)、10月13日(土)  
 【パネル展示時刻】 10:00～17:00  
 【アンケート実施期間】 10月2日(水)～10月22日(金)

**アクセスマップ**  
 【道の駅田野駅屋】 【ローソン安田町唐浜店】 【マルナカ安芸店】

奈半利町・田野町・安田町・安芸市に在住の皆様へはアンケート用紙を各ご自宅に1枚ずつ配布いたしました。アンケートの回答については、ご自宅に配布したのものについても返送いただきますよう、お願いいたします。

【お問い合わせ先】 土佐国道事務所 調査課 TEL 088-885-4830

#### ▼説明会(オープンハウス)開催状況

○道の駅田野駅屋  
平成30年10月13日(土)の状況



○ローソン安田町唐浜店  
平成30年10月11日(木)の状況



○マルナカ安芸店  
平成30年10月13日(土)の状況



### 3. 第2回意見聴取の結果(説明会(意見交換会)の開催状況)

- 意見聴取の実施にあたり、地域住民の方や高校生を対象として、奈半利～安芸間の「ルート帯を考える際に重要と思う事及び配慮すべきこと」や「インターチェンジを造る際に、配慮すべきこと」について話し合う意見交換会を開催した。
- 説明会(意見交換会)の開催にあたっては、案内チラシの配布等により地域住民などへの周知を図った。

#### ▼意見交換会の開催概要

地域	開催場所	開催期間	開催時間	参加者数	
奈半利町	奈半利町保健センター	10月17日(水)	18:30～20:30	36名	合計 61名
安芸市	安芸桜ヶ丘高校	10月26日(金)	11:00～12:00	25名	

#### ▼意見交換会の周知

阿南安芸自動車道 奈半利～安芸 における道路計画に関する意見交換会

**道路計画に関してどなたでも参加できる  
意見交換会を開催します!**

高知県 安芸市 安田町 田野町 奈半利町

意見交換会(自由参加)の実施について

**実施内容** 「阿南安芸自動車道 奈半利～安芸間のルート帯を考える際に重要と思う事および配慮すべきこと」、「インターチェンジを造る際に、配慮すべきこと」について、自由に意見を言うことができる「意見交換会」を開催します。

**開催日時** 平成30年 10月17日(水曜日) 18:30～

**開催場所** 奈半利町 保健センター

【住所】高知県安芸郡奈半利町乙 1269-1

**アクセスマップ**

【お問い合わせ先】 土佐国道事務所 調査課 TEL 088-885-4830  
奈半利町役場 地域振興課 TEL 0887-38-8182

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 奈半利町役場

#### ▼意見交換会開催状況

○奈半利町意見交換会  
平成30年10月17日(水)



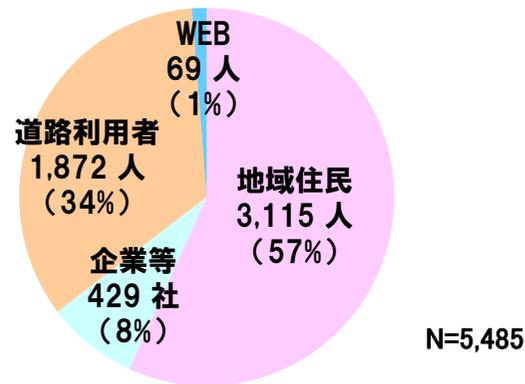
○安芸桜ヶ丘高校意見交換会  
平成30年10月26日(金)



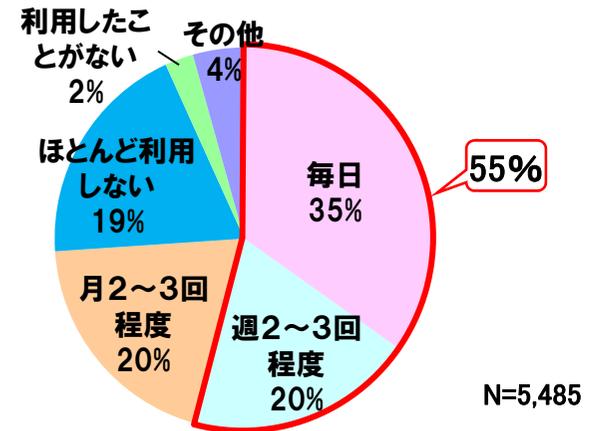
### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果①)

- 地域住民3,115人、企業等429社、道路利用者1,872人、WEB69人から回答をいただいた。
- 回答者の約7割が、対象地域である奈半利町、田野町、安田町、安芸市に居住(企業は所在地)。
- 回答者の約5割が、国道55号 奈半利～安芸間を「週2～3回程度以上利用」と回答。
- 利用目的は、「家事・買い物」が約3割、「仕事・通勤・通学」が約3割、「観光・レジャー」が約2割と多様な状況。

▼アンケート回収結果

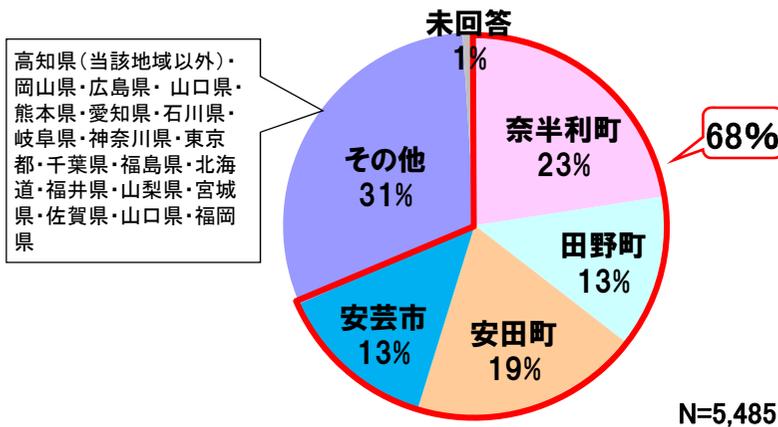


▼国道55号 奈半利～安芸間の利用頻度

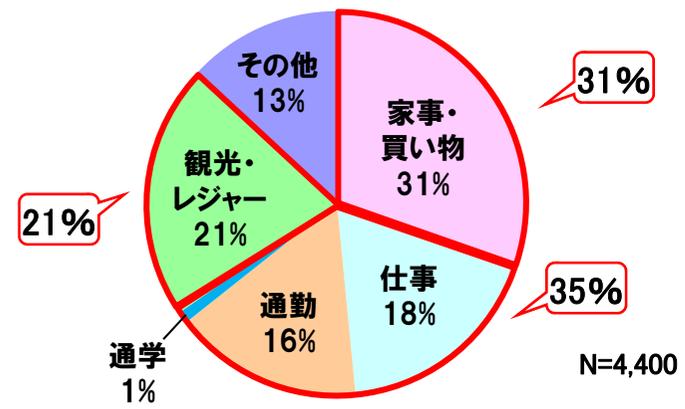


※その他には、選択項目以外の回答の方、未回答及び複数回答の方を含む

▼回答者住所



▼利用目的



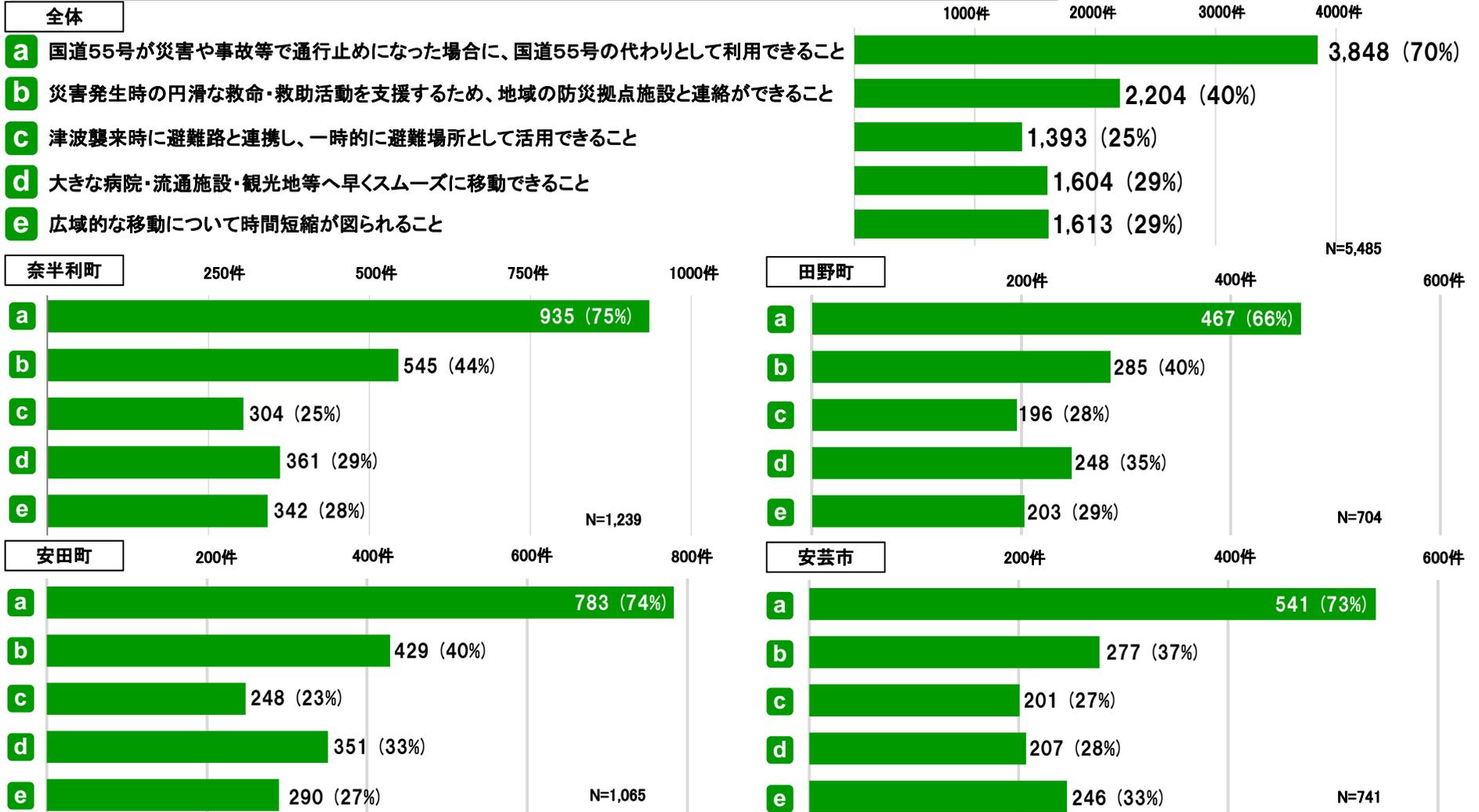
※ 利用目的は住民用・道路利用者・WEBアンケート回答者を対象とし、「利用したことがない」「未回答」と回答された方以外を対象とする

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果②)

(1) 望ましいルート帯を考える際に、重要と思う項目について

- 重要と思う項目では、「**a** 国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」が最も重要とされている。
- 地域別においても「**a** 国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」が最も重要とされており、意見に大きな違いは見られなかった。

問1: 奈半利～安芸間の望ましいルート帯を考える際に、以下のうち、どれがより重要とされますか？

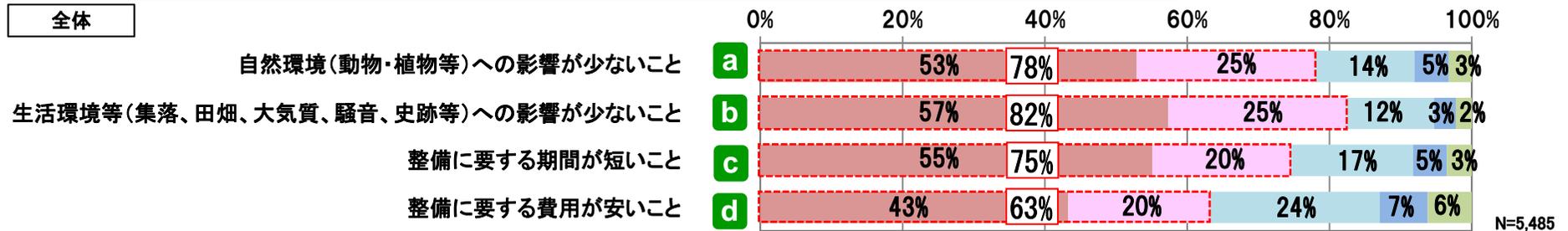


### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果③)

#### (2) 望ましいルート帯を考える際に、配慮すべき項目について

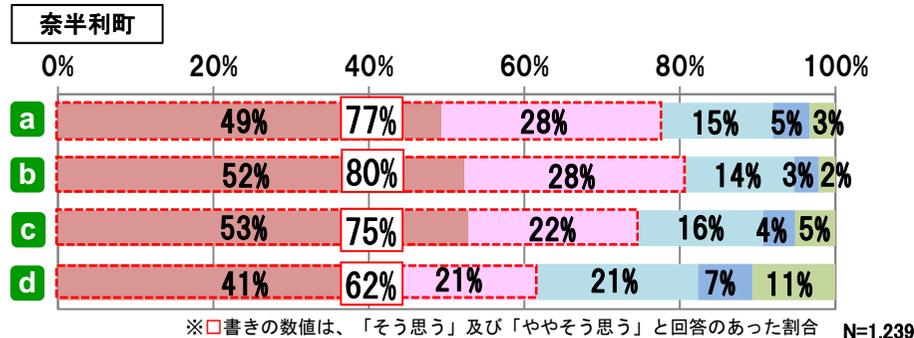
- 全ての項目について、回答者の6割以上の方が重要と考えている。
- 特に「**b** 生活環境等(集落、田畑、大気質、騒音、史跡等)への影響が少ないこと」が最も重要と考えられている。
- 地域別においても「**b** 生活環境等(集落、田畑、大気質、騒音、史跡等)への影響が少ないこと」が最も重要と思われており、意見に大きな違いは見られなかった。

問2-1: 奈半利～安芸間の望ましいルート帯を考える際に、配慮すべき事項についてどう思いますか? ※項目 **a**～**d**のそれぞれについて5段階で評価

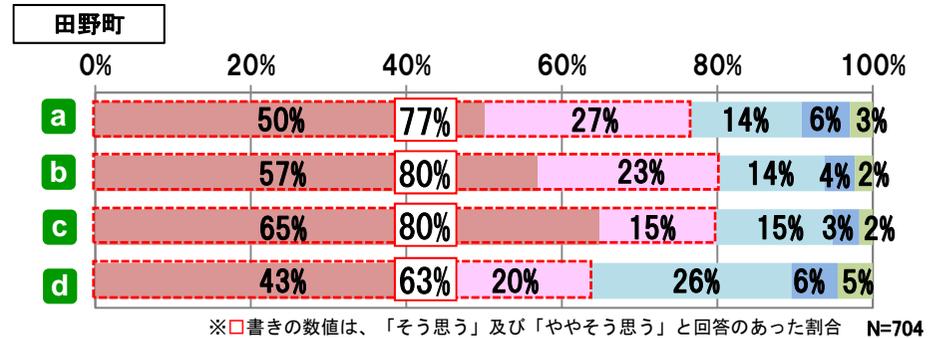


■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

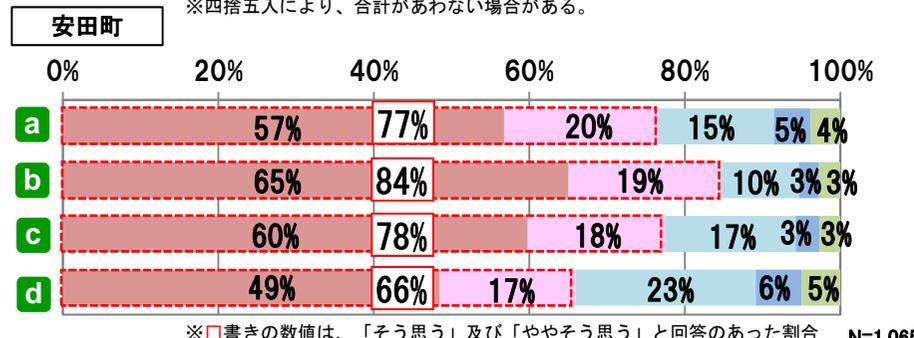
※書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。



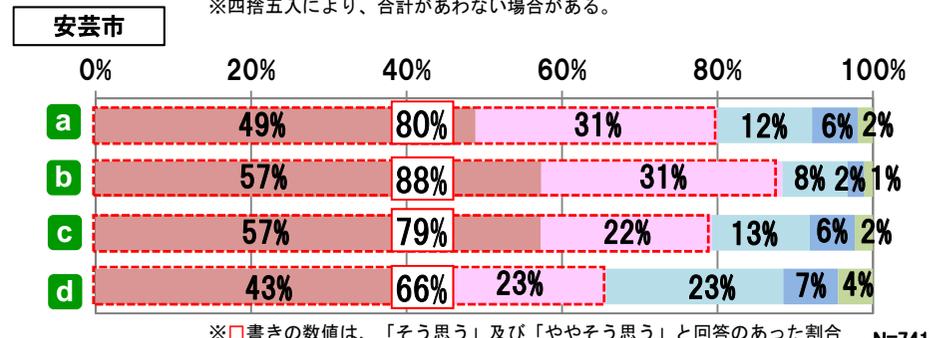
※書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。



※書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。



※書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。



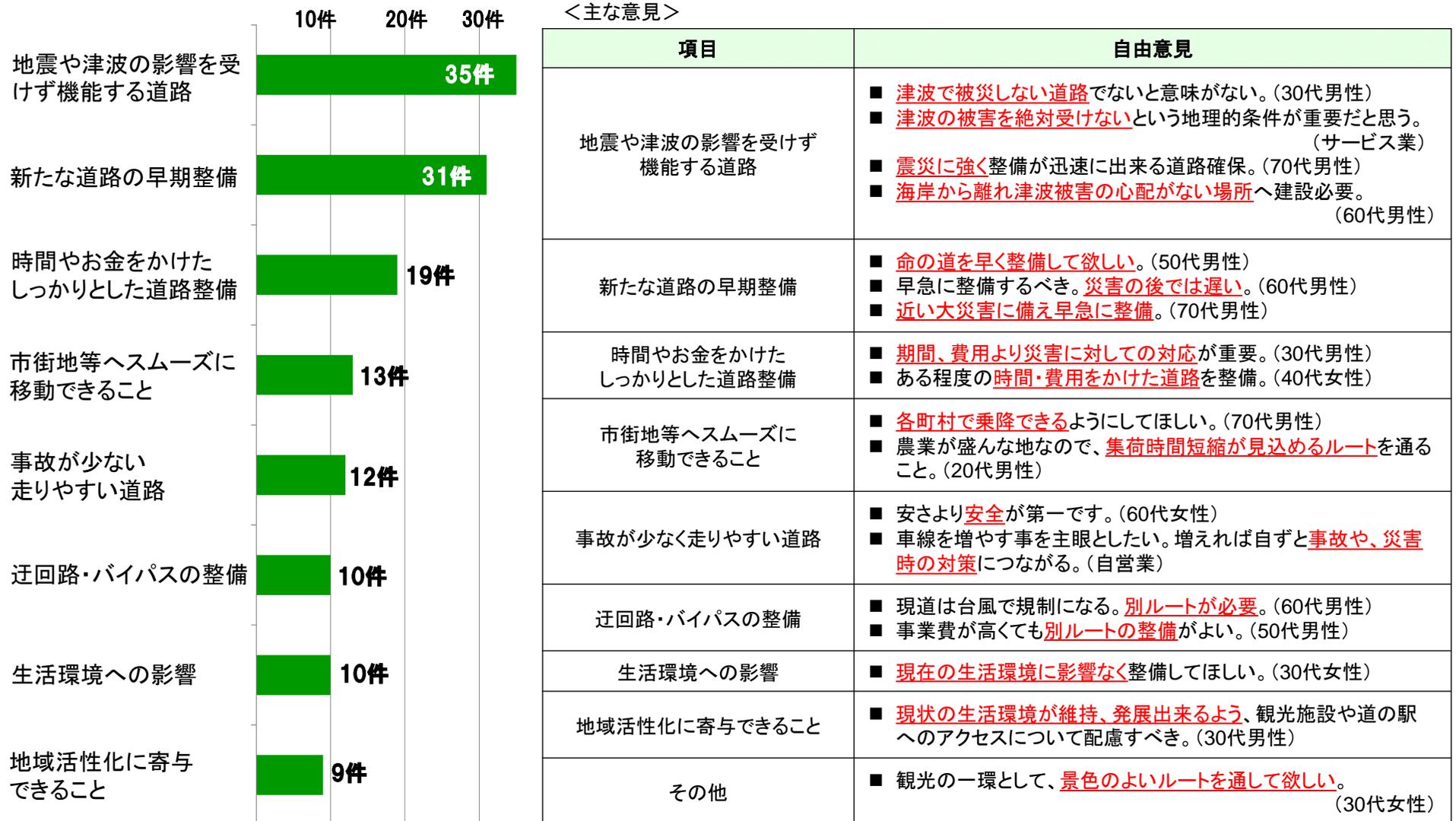
※書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
※四捨五入により、合計があわない場合がある。

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果④)

(3) 望ましいルート帯を考える際に、重要と思う項目について(自由意見)

○自由意見では、重要と思う項目として「地震や津波の影響を受けない道路」「早期整備」が重要との意見が多く寄せられた。

問2-2:その他、重要と思うもの配慮すべきものがあれば、ご自由にお書き下さい。



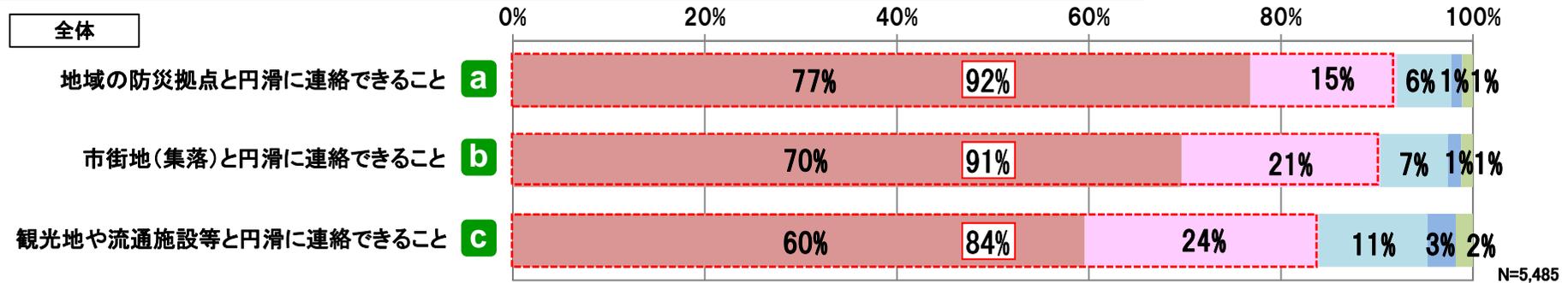
※その他 81件「渋滞緩和」、「観光振興」などに関する意見

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果⑤)

#### (4) インターチェンジを造る際に、配慮すべき事項について

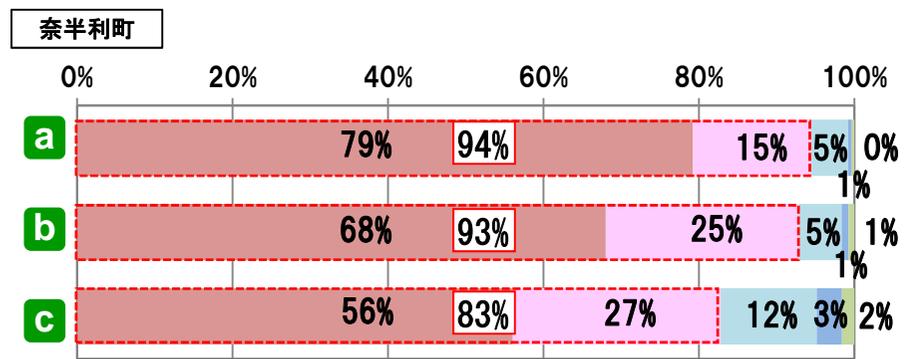
○全ての項目で8割以上の方が配慮すべきと思われる。  
 ○地域別においても大きな違いは見られなかった。

問3-1: 奈半利～安芸間にインターチェンジを造る際に、配慮すべき事項についてどう思いますか？ ※項目a～cのそれぞれについて5段階で評価

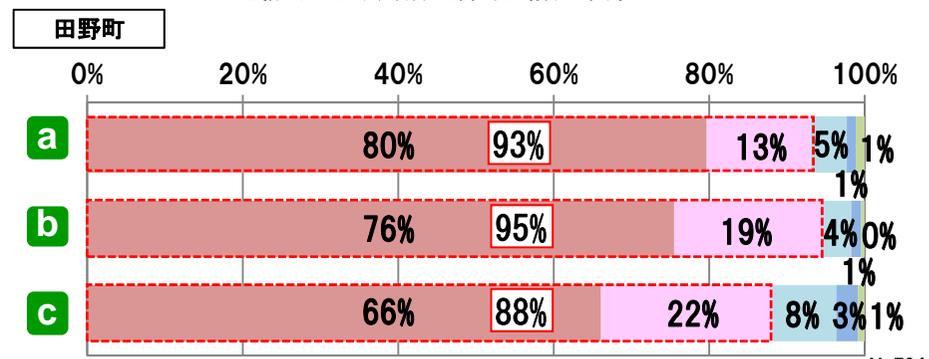


■そう思う ■ややそう思う ■どちらともいえない ■あまりそう思わない ■そう思わない

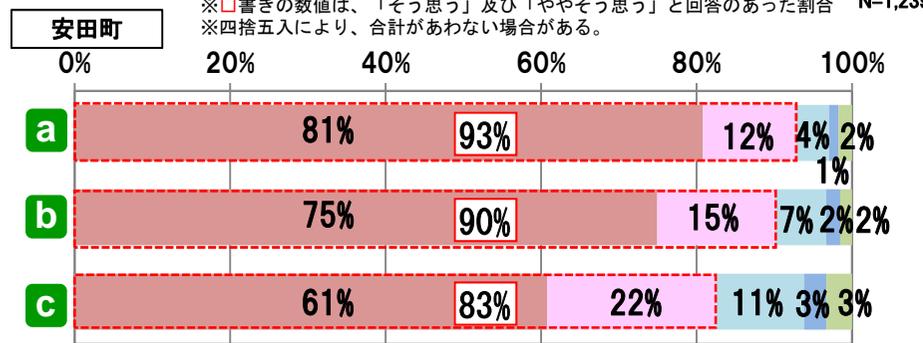
※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。



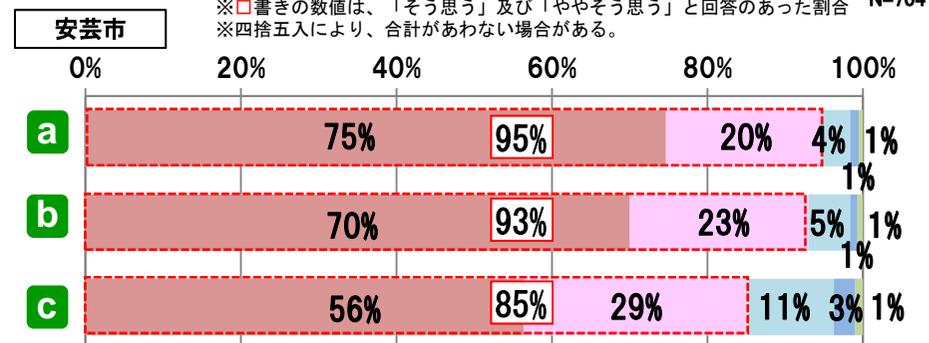
※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。



※□書きの数値は、「そう思う」及び「ややそう思う」と回答のあった割合  
 ※四捨五入により、合計があわない場合がある。

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果⑥)

(5) インターチェンジを造る際に、配慮すべき事項について(自由意見)

○自由意見では、重要と思う項目は「IC設置希望」が重要との意見が最も多く寄せられた。

問3-2: その他、重要と思うものがあれば、ご自由にお書き下さい。



<主な意見>

項目	自由意見
IC設置希望	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>沿線の市町村</u>にはICを必ず整備してほしい。(60代男性)</li> <li>■ <u>それぞれの町村に乗り降り</u>できること。(70代男性)</li> <li>■ <u>病院、消防署があり、ヘリポートもある</u>、田野町には必ずインターチェンジが必要。(30代男性)</li> </ul>
地震や津波の影響を受けず機能する道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 低地に造ると<u>浸水で機能しない</u>のではないかと。(60代男性)</li> <li>■ <u>災害時に利用できる</u>ようにすること。(50代男性)</li> <li>■ <u>津波の被害のない高い所</u>に道をお願いします。(60代女性)</li> </ul>
早期整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>早期着工早期完成</u>をお願いします。(60代男性)</li> <li>■ <u>8の字ネットワークの早期完成</u>。(30代男性)</li> <li>■ できる限りの<u>早期整備</u>を。(50代男性)</li> </ul>
病院・消防署へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>急救医療(田野病院)への連絡</u>。(40代男性)</li> <li>■ <u>医療機関へのアクセス</u>が便利になること。(自営業)</li> </ul>
地域活性化に繋がる道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インターチェンジだけでなく、<u>サービスエリアで市町村毎に地域の活性化につながる特色を生かしてほしい</u>。(70代女性)</li> <li>■ ICの場所により地域経済の衰退につながるため、<u>交流人口が増えるように設計</u>を求めます。(自営業)</li> </ul>
防災拠点へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 両側の橋が落ちた時に<u>防災拠点へアクセスできるIC</u>を設けておくべき。(40代女性)</li> <li>■ <u>災害リスク軽減のため防災拠点とのアクセス</u>。(30代男性)</li> </ul>
市街地(集落)への円滑なアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>市街地とのアクセスは確保</u>すべき。(50代男性)</li> <li>■ 観光地にアクセスも重要と思うが、<u>防災拠点や市街地とのアクセスが地域にとっては重要な点</u>と思います。(40代男性)</li> </ul>
接続道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>ICまでのアクセス道路の整備</u>も計画すべき。(40代男性)</li> </ul>
観光地・流通施設とのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>今ある道の駅へアクセス出来るようにICを整備</u>してほしい。(50代女性)</li> </ul>

※その他 82件

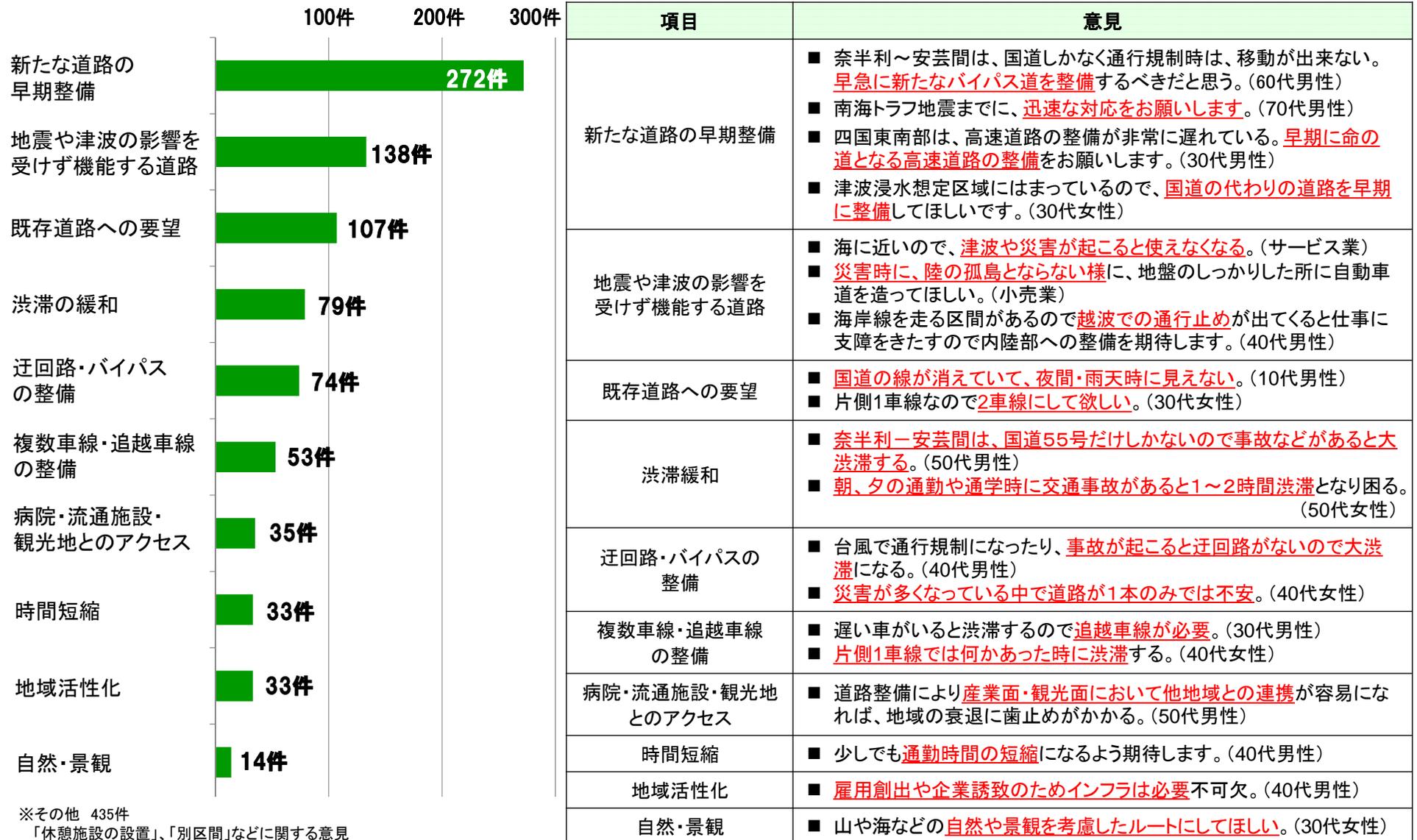
「分かりやすいIC構造」、「避難場所としての活用」などに関する意見

### 3. 第2回意見聴取の結果(アンケート結果⑦)

#### (6) 国道55号 奈半利～安芸間の道路整備等について

- 「新たな道路の早期整備」を求める意見が非常に多く寄せられた。
- また、「地震や津波の影響を受けずに機能する道路」や「既存道路への要望」を求める意見も多く求められた。

<主な意見>



※その他 435件  
「休憩施設の設置」、「別区間」などに関する意見

### 3. 第2回意見聴取の結果(ヒアリング結果①)

(1) 奈半利～安芸間の望ましい道路整備を考える際に、重要と思う項目について

○「国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」、「広域的な移動について時間短縮が図られること」が重要との意見が最も多く寄せられた。

<主な意見>

※ヒアリングにて聴取した自由意見を分類

項目	意見
<p><b>a</b> 国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること</p> <p>(38団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ地震だけでなく、<u>日々の安全・安心のためリダンダンシーの確保が非常に重要</u>。(東洋町)</li> <li>■ 道が1本しかないので、もう1本道路が必要。特に、安田町～安芸市は迂回路がないので、<u>事故渋滞が発生すると移動時間が読めない</u>。(みなとみらい会議)</li> <li>■ 大山地区のように、道が2本あるとどちらかを利用できる。当該区間も<u>代替路を整備してほしい</u>。(JA土佐あき安田支所)</li> <li>■ 国道55号が海岸沿いなので今地震が来るかと想像すると怖い。<u>津波から逃げれる道が1本あると安心</u>できる。(馬路村農協)</li> <li>■ 近年自然災害が多いので、<u>災害時に国道55号の代わりとなることを前提とした道路整備</u>が必要。(高知県東部観光協議会)</li> </ul>
<p><b>b</b> 災害発生時の円滑な救命・救助活動を支援するため、地域の防災拠点施設と連絡ができること</p> <p>(23団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大規模災害発生時における<u>円滑な支援部隊の進出や緊急物資の輸送の確保、総合防災拠点と地域の防災拠点との道路開閉日数の短縮</u>が可能であることが重要。(高知県)</li> <li>■ 災害時は、<u>身を守るために避難することも重要</u>であるが、<u>2次避難所に移動することも重要</u>となってくることから、できるだけ生活できる場所に近い方がよい。(南国市)</li> <li>■ バイパス整備により<u>緊急輸送道路として機能</u>し、地域が活用できるルートであることが重要。(香南市)</li> <li>■ 国道55号が津波で壊れるので、<u>救助活動を考えるとバイパス整備が必須</u>。(安芸市消防本部)</li> </ul>
<p><b>c</b> 津波襲来時に避難路と連携し、一時的に避難場所として活用できること</p> <p>(18団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>一時的に避難場所として利用</u>できることが重要。避難タワーが設置されていない箇所もあるので、逃げられる場所を確保してほしい。(JA土佐あき室戸支所)</li> <li>■ 市街地との連絡性を優先するバイパス案が、<u>いざというときに高台に逃げられることもできる</u>のでいいのではないかと。(高知市)</li> <li>■ 沿岸部は全て津波被害にあう。<u>東日本大震災のように防波堤・避難場所としての機能を期待する</u>。(高知県警察本部)</li> </ul>
<p><b>d</b> 大きな病院・流通施設・観光地等へ早くスムーズに移動できること</p> <p>(25団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>物流、観光等まちづくりの観点から市街地との連絡性を優先</u>する道路整備が必要。(馬路村)</li> <li>■ 道路があり<u>救急医療へのアクセス性が確保</u>されていれば、助かった命も多くあった。(芸西村)</li> <li>■ <u>高知市内からのアクセスが向上することで観光振興につながる</u>。高規格道路から国道55号へのアクセスが重要。(室戸市)</li> <li>■ 患者のもとに直ぐ到着できるように、<u>集落へアクセスを考慮したルートが良い</u>。(高知県医師会)</li> </ul>
<p><b>e</b> 広域的な移動について時間短縮が図られること</p> <p>(29団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者と移動する場合は近場が多い。<u>道路整備が時間短縮に繋がれば行動範囲が広がる</u>。(奈半利町社会福祉協議会)</li> <li>■ <u>高知市内から時間がかかる。移動時間の短縮が重要</u>。(みなとみらい会議)</li> <li>■ 高知新港から室戸市まで観光に来てもらうためには、<u>時間短縮につながる道路</u>が必要である。(室戸市観光協会)</li> <li>■ <u>高知市内への時間短縮が重要</u>。新しい道が出来たら人が住み賑やかになる。(なはり浦の会)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>(43団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ トンネル構造も悪くないが、<u>海を見ながら走れる環境が東部地域のいいところではないか</u>。(南国市)</li> <li>■ バイパスが整備されると、<u>利便性の良い道ばかり利用されるので、国道55号沿いが廃れてしまうことが心配</u>。観光面を考えると、バイパス案だと通過交通が多くなる。(シェアオフィス「なかやま」東京映画社)</li> </ul>

### 3. 第2回意見聴取の結果(ヒアリング結果②)

(2) 奈半利～安芸間の望ましい道路整備を考える際に、配慮すべき項目について

○「整備に要する期間が短いこと」が配慮すべきとの意見が多く寄せられた。

<主な意見>

※ヒアリングにて聴取した自由意見を分類

項目	意見
<p><b>a</b> 自然環境(動物・植物等)への影響が少ないこと</p> <p>(12団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>環境に負荷がかからない構造</u>を設計して、施工を行って欲しい。(安田町)</li> <li>■ 自然には一定の配慮が必要。<u>土砂災害等を誘発しかねない</u>。(田野町移住者)</li> <li>■ <u>自然を撮影するために高知にいる</u>ので、自然環境や棚田へは配慮してほしい。(シェアオフィス「なかやま」東京映画社)</li> <li>■ <u>自然に魅力を感じたので移住してきた</u>。可能な限り自然環境を残してほしい。(安芸市移住者)</li> <li>■ <u>観光資源である自然環境への配慮</u>が必要。(観光ボランティア)</li> </ul>
<p><b>b</b> 生活環境等(集落、田畑、大気質、騒音、史跡等)への影響が少ないこと</p> <p>(17団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>利用者に影響するので、生活環境には配慮してほしい</u>。(高知東部交通)</li> <li>■ 農業をされている方が多いので、<u>平地や田畑を壊すのは嫌がられる</u>。(安田町社会福祉協議会)</li> <li>■ <u>生活環境にも一定の配慮が必要</u>。田畑をあまり壊さないように。(JA土佐あき北川支所)</li> <li>■ <u>生活環境やビニールハウス、農業優良地へ配慮が必要</u>。農業に影響すると過疎化に繋がる。(ボランティアガイドの会)</li> <li>■ <u>ビニールハウスへの影響が少なくなるように配慮</u>をお願いします。(JA土佐あき奈半利支所)</li> </ul>
<p><b>c</b> 整備に要する期間が短いこと</p> <p>(45団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>災害時に重要な道路となる広域ネットワークをできるだけ早期に形成して欲しい</u>。(安芸市)</li> <li>■ より早く高知側に繋ぐためにも、<u>事業のスピードを上げて欲しい</u>。(北川村)</li> <li>■ 8の字ネットワークを高速で早くつなげてほしい。<u>早期整備が最優先。震災前に整備が必要</u>。(高知県トラック協会)</li> <li>■ 南海トラフはいつ来るか分からないし、台風は毎年来ている。<u>防災に役立つ道の早期整備</u>が重要。(JF椎名支所)</li> <li>■ 災害時に孤立するので<u>早期整備が必要</u>。(JR四国バス高知支店)</li> <li>■ 道路の早期整備が重要。<u>早く開通させないと少子高齢化・人口流出で人がいなくなる</u>。(土佐はちきん連合)</li> </ul>
<p><b>d</b> 整備に要する費用が安いこと</p> <p>(10団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>必要な機能は備えたうえで、費用の削減は必要</u>。(JA土佐あき北川支所)</li> <li>■ <u>安い道路を早く整備</u>するに越したことはない。(安田町社会福祉協議会)</li> <li>■ <u>トンネル程の費用を掛ける必要はない</u>。整備後の所要時間に大差ないのなら案①でよい。(高知県東部観光協議会)</li> <li>■ <u>税金を使って整備される道路なので、安く整備することも配慮</u>しなければならない。(奈半利町移住者)</li> <li>■ <u>税金を利用して整備するので安く整備</u>するに越したことはない。(北川村ゆず王国)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>(10団体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 早期開通出来ること、集落に近く<u>平常時も使いやすいことが重要</u>ではないかと考える。(徳島県)</li> <li>■ 期間や費用は大きな問題ではない。利用者にとって<u>使い勝手の良い道路にすべき</u>。(高知新聞観光)</li> <li>■ <u>時間や費用は掛かってよいので、良い道路を整備してほしい</u>。(安芸市社会福祉協議会)</li> <li>■ <u>費用と時間をかけて高規格道路をきちんと整備</u>するべき。(北川村温泉)</li> </ul>

### 3. 第2回意見聴取の結果(ヒアリング結果③)

#### (3) 奈半利～安芸間にインターチェンジを造る際に、配慮すべき項目について

○「地域の防災拠点と円滑に連絡できること」に配慮すべきとの意見が最も多く寄せられた。

<主な意見>

※ヒアリングにて聴取した自由意見を分類

項目	意見
<b>a</b> 地域の防災拠点と円滑に連絡できること  (26団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 奈半利港が総合防災拠点となっている。<u>防災上、奈半利港へのアクセスが重要となるため、奈半利港から奈半利ICに南北につながるアクセス道路を計画するなど、ICを中心とした町づくりを行っていきたい。</u>(奈半利町)</li> <li>■ 南海トラフ等の災害時には、奈半利川橋が落橋する可能性があるため、<u>奈半利川を超えた奈半利町にICを整備</u>してほしい。災害直後の<u>啓開時間短縮のため防災面で重要なIC</u>となる。(室戸市)</li> <li>■ <u>役場、住宅地周辺に防災拠点を設けている</u>ため、そういった場所にICを設置してほしい。(高知県警察本部)</li> <li>■ 消防、救急の観点からいうと、<u>消防署の付近への接続が望ましい。</u>(中芸広域連合消防本部)</li> <li>■ 命の道としては、<u>防災や医療に配慮した位置にIC</u>が必要。(高知県バス協会)</li> </ul>
<b>b</b> 市街地(集落)と円滑に連絡できること  (25団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日常の利便性向上のためにも、<u>市街地との連絡性が重要。</u>(安田町移住者)</li> <li>■ <u>市街地に直結</u>する道路がほしい。(高知県トラック協会)</li> <li>■ ICは出来るだけ<u>地域の人にとって使いやすい場所</u>にするべき。それが、観光客にとっても便利になる。(高知新聞観光)</li> <li>■ <u>救急搬送のため集落付近</u>にICが必要。(あき総合病院)</li> <li>■ 通勤時の利用も考えると<u>市街地とのアクセスが重要</u>になる。(JR四国バス高知支店)</li> </ul>
<b>c</b> 観光地や流通施設等と円滑に連絡できること  (20団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>安田町にJAの出荷場やライスセンターがある他、北側には馬路村が位置</u>している。農作物等の輸送のため、安田町にICを設置し、<u>高規格道路を活用</u>したい。(安田町)</li> <li>■ 安田町にICがあれば馬路村へのアクセスが確保される。<u>馬路村のユズ、林業および観光業の活性化</u>のため、安田町にICが必要である。(安芸市)</li> <li>■ ゆずロードや道の駅「<u>田野駅屋</u>」等の<u>観光施設への接続</u>が必要。集客に繋げるためアピールが重要。(中芸地区商工会)</li> <li>■ <u>道の駅「田野駅屋」を活用できるIC配置</u>が必要。(みなとみらい会議)</li> </ul>
病院へのアクセス  (6団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>安芸市や田野町の第二次救急医療施設や、高知市の第三次救急医療施設への円滑な搬送</u>の確保が重要。(高知県)</li> <li>■ <u>田野町には、中芸広域連合消防本部や田野病院があり、救急医療機関へのアクセス性の向上</u>という面においても、高知向きのICを田野町に作る効果は非常に大きい。(田野町)</li> <li>■ 田野病院からの<u>転院搬送や消防署の立地を考えると田野町にICが必要。</u>(田野病院)</li> <li>■ 病院の近くにICが必要。<u>搬送するのに遠回りになってはいけない。</u>(室戸消防署)</li> </ul>
その他  (32団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高知市内への輸送時間短縮のため、<u>室戸に少しでも近づけた位置にICを整備</u>してほしい。(JA土佐あき室戸支所)</li> <li>■ 国道55号との接続部で<u>渋滞を考慮してIC配置</u>が必要。(高知東部交通)</li> <li>■ 騒音等の問題もあるので<u>ICは町中から少し外れた位置に設置</u>するべき。(JF室戸総括支所)</li> </ul>

### 3. 第2回意見聴取の結果(意見交換会①:奈半利町)

- 奈半利町住民を対象とした意見交換会を開催。36名の住民の方に参加いただいた。
- ルート帯を考える際には、「防災面」「産業面」「医療面」「早期整備」に関して重要との意見が多く寄せられた。
- インターチェンジ整備により、「地域活性化」や「防災面向上」を期待する意見が多く寄せられた。

#### (1) ルート帯を考える際に重要と思う事・配慮すべきこと

※意見交換会にて聴取した自由意見を分類

	項目	意見
重要 と思う 事項	<b>a</b> 国道55号の代わりとして利用出来ること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国道55号が事故等で通行止めになると迂回路がないので、<b>代わりになる道路</b>がよい。</li> <li>■ 災害が起きた時に<b>国道55号の代わりになる、災害に強い道路</b>が必要。</li> </ul>
	<b>b</b> 災害発生時の円滑な救命・救助活動のため地域の防災拠点施設と連絡ができること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>防災拠点やヘリポート等と連携が可能なルート</b>選定が必要。</li> <li>■ 災害時に<b>救助物資の運送がスムーズに行える道路</b>がよい。</li> </ul>
	<b>c</b> 津波襲来時に避難路と連携し、一時的に避難場所として活用できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>避難場所として活用するため、津波に浸からない高さ</b>で盛土や橋梁を用いた整備がよい。</li> <li>■ 津波や災害時に<b>集落から道路上に避難できるように集落に近い道路</b>がよい。</li> </ul>
	<b>d</b> 大きな病院・流通施設・観光施設等へ早くスムーズに移動できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害時だけでなく、<b>命の道として医療施設に早く安全に行ける道路</b>。</li> <li>■ <b>地域と密着した道路、産業を活性化できる道路が必要</b>なので市街地と近い方がよい。</li> </ul>
	<b>e</b> 広域的な移動について時間短縮が図られること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高知市内への時間短縮になれば、<b>人口増加や観光客増加が期待</b>できる。</li> <li>■ 高知市内への<b>移動時間が短縮されれば産業や医療の問題が解決</b>される。</li> </ul>
配慮 すべき 事項	<b>a</b> 自然環境への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>自然環境や景観に配慮</b>した道路整備を考えてほしい。</li> </ul>
	<b>b</b> 生活環境等への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業が主要産業なので、<b>農地や園芸地域へ影響ないように配慮</b>が必要。</li> </ul>
	<b>c</b> 整備に要する期間が短いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフがいつ起きるか分からない状況なので、<b>災害に強い道路の早期整備</b>が急務。</li> <li>■ 少子高齢化・人口減少が進んでいるので、<b>人がいるうちに道路を整備しないといけない</b>。</li> </ul>
	<b>d</b> 整備に要する費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>税金で行う事業なので道路整備に費用を掛け過ぎず</b>、違う事業をすることも考えられる。</li> </ul>

#### (2) インターチェンジを考える際に重要と思うこと

※意見交換会にて聴取した自由意見を分類

	項目	意見
<b>a</b>	地域の防災拠点と円滑に連絡できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>救急病院や消防署との連携が必要</b>になるため田野町にICを設けるべき。</li> <li>■ 南海トラフ時の<b>防災拠点との連携を考慮してIC配置</b>を考えてほしい。</li> </ul>
<b>b</b>	市街地(集落)と円滑に連絡できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 町づくり計画と連携した位置にICを設置して、<b>住民の利便性に配慮</b>してほしい。</li> <li>■ <b>各自治体、各集落からアクセスしやすい場所</b>にICを設けてほしい。</li> </ul>
<b>c</b>	観光地や流通施設等と円滑に連絡できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>道の駅等の観光施設との連携を図る</b>ことで、地域活性化に期待する。</li> <li>■ 道路利用者に立寄ってもらえるように<b>観光施設の近くにICを配置</b>する必要がある。</li> </ul>

### 3. 第2回意見聴取の結果(意見交換会②:高校生)

- 安芸市にある高校の生徒を対象とした意見交換会を開催。25名の高校生に参加いただいた。
- 若年層の人口増加・商業施設の誘致・観光客の増加による「賑わいのある街」にしたいという意見が多く、そのために「時間短縮を図れるルート」「市街地や観光地とアクセスしやすいIC」を求める意見が多く寄せられた。
- アンケートでは、住民等を対象にしたものと比べ「問1 **e** 広域的な移動について時間短縮が図られること」「問3 **c** 観光地や流通施設等と円滑に連絡できること」が多い傾向にある。

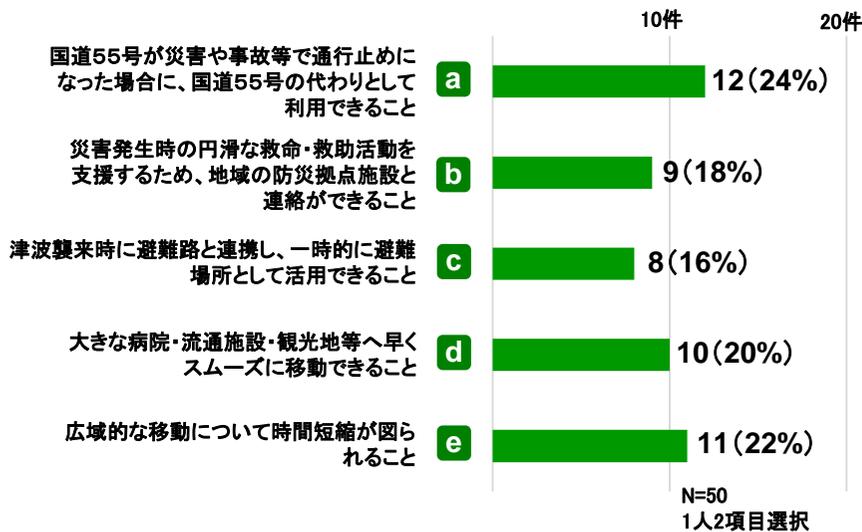
(1) どのような街に発展させたいか

項目	意見
賑わいのある街	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 少子化が進んでいるので学生で賑わう街。</li> <li>■ 働く場所が増えて活気のある町。</li> <li>■ 娯楽施設等の整備により、世代間交流の図れる街。</li> </ul>
観光で栄える街	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一度は訪れてみたいと思える街。</li> <li>■ 観光客がたくさん訪れる街。</li> <li>■ 県外と行き来のしやすい街。</li> </ul>
安心して暮らせる街	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地震や災害に備えた安心して暮らせる街。</li> <li>■ 南海トラフ地震に備えた街。</li> </ul>

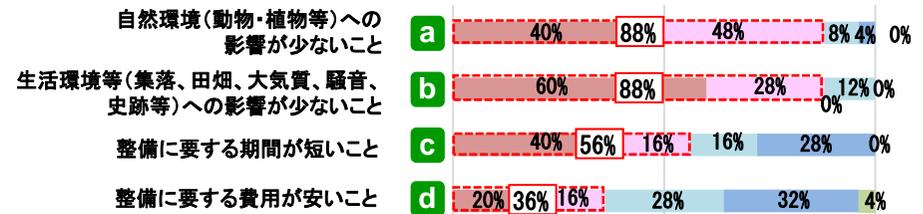
(2) 街の発展のため、どのような道路(またはIC)が必要か

項目	意見
時間短縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高知市内とのアクセスが容易になる道路が必要。</li> <li>■ 街間の行き来がしやすくなる、時間短縮になる道路。</li> </ul>
市街地や医療施設との連絡性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市街地や商業施設付近を通過する道路やICが良い。</li> <li>■ 高齢者が多いので、病院まで円滑に進める道路。</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 通行規制にならない道路が必要。</li> <li>■ 南海トラフの地震や津波に強い道路がふさわしい。</li> </ul>
安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自動車、自転車、歩行者が安全に移動できる道路整備。</li> <li>■ 広くて真っ直ぐな走りやすい道路がよい。</li> </ul>

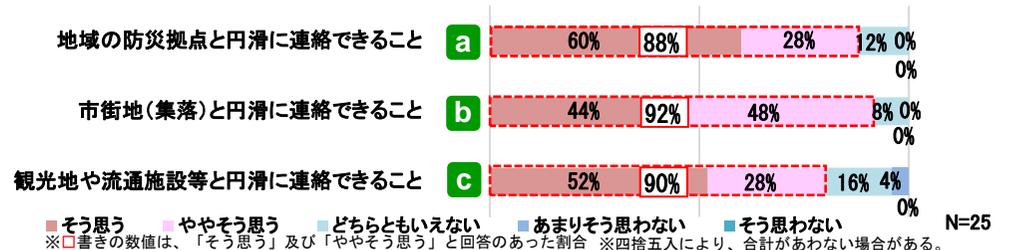
問1: 奈半利～安芸間の望ましいルート帯を考える際に、以下のうち、どれがより重要とご思いますか？ ※項目 **a**～**e** の中から2つ選択



問2: 奈半利～安芸間の望ましいルート帯を考える際に、配慮すべき事項についてごどう思いますか？



問3: 奈半利～安芸間にインターチェンジを造る際に、配慮すべき事項についてごどう思いますか？



## 4. 対応方針(素案)の検討

# 4. 対応方針(素案)の検討(政策目標と複数のルート帯案)

- 当該地域の道路の現状・課題を踏まえ、第1回意見聴取で確認のとれた「政策目標」を達成するための役割を有する道路整備の対応方針(案)(複数のルート帯案)を設定。
- 対応方針(案)(ルート帯案)検討にあたっては、南海トラフ地震への対応、速達性・走行性、自然環境・生活環境の保全と調和、経済性等への配慮等を考慮。

## 【政策目標】

- ①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保
  - ・代替路の確保
  - ・防災拠点施設や避難路との連携
- ②速達性・走行性の向上により産業振興を支援
- ③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援
- ④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送、走行性向上による交通事故の減少

## 【ルート帯案検討にあたっての評価項目】

○ルート帯案の検討にあたっては、南海トラフ地震等への対応、産業振興・観光振興・医療サービスの支援・交通事故の減少のための速達性・走行性に加え、自然・生活環境等の保全と調和、経済性等に配慮し検討する。

《政策目標を達成するために考慮する評価項目》		《道路整備に際し配慮する評価項目》 ※全事業対象項目	
<p>南海トラフ地震等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道55号の代替機能</li> <li>・地域の防災拠点への円滑な連絡の確保</li> <li>・避難路と連携した一時的に避難場所としての活用</li> </ul>	<p>速達性・走行性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場までの輸送時間短縮、商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響)</li> <li>・観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)</li> <li>・医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少(急カーブや信号交差点の影響)</li> </ul>	<p>自然環境・生活環境等の保全と調和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物への影響</li> <li>・植物への影響</li> <li>・集落などへの影響</li> <li>・大気質及び騒音等の影響</li> <li>・重要な史跡等への影響</li> </ul>	<p>経済性等への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設に要する期間</li> <li>・建設に要する費用</li> </ul>

案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案	案③ 現道改良案
市街地(集落)の極力近くを通るルートで自動車専用道路を整備する案 (延長 13km 速度 80km/h 2車線)	区間延長を極力短くしたルートで自動車専用道路を整備する案 (延長 12km 速度 80km/h 2車線)	現状の国道55号の急カーブ・急勾配・道路幅等を改良する案 (延長 14km 速度 60km/h 2車線)

# 4. 対応方針(素案)の検討 (案①の概要)

## ○案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案



### ■整備概要

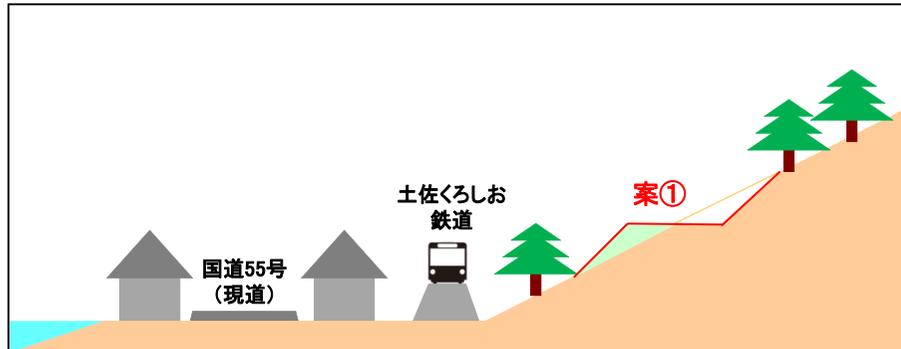
整備概要	延長 約 13 km
	速度 80 km/h 2車線 (自動車専用道路)

コスト	約 600 ~ 650 億円
-----	----------------

### ■ルート帯の概要

内容	・市街地(集落)の極力近くを通るルートで、コスト縮減の観点から可能な範囲で土工(切土・盛土)の構造を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。
----	--

### 〈A-A 付近のイメージ〉



凡例	
—	供用中区間
---	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
—	一般国道(補助国道)
—	一般県道
○	市役所・町役場(支所)
●	公共施設
●	病院
●	防災拠点
●	名勝・天然記念物
●	史跡
○	集荷場(農業協同組合)
●	集荷場(漁業協同組合)
■	市街地(集落)
■	津波予測浸水域
■	地すべり危険箇所
■	公園
■	鳥獣保護区

# 4. 対応方針(素案)の検討 (案②の概要)

## ○案② 区間延長を極力短くしたバイパス案



### ■整備概要

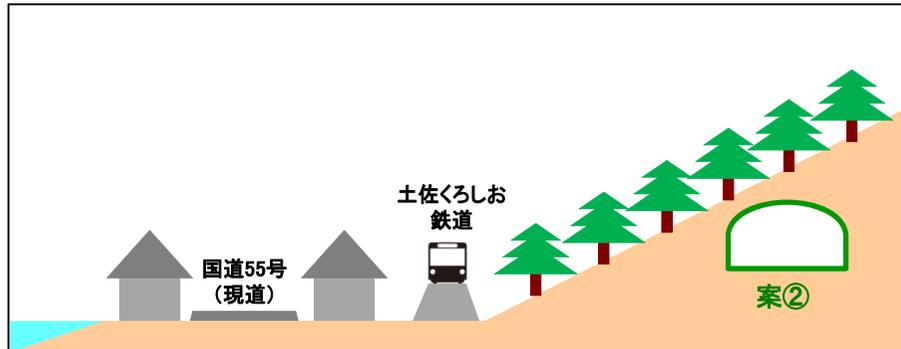
整備概要	延長 約 12 km
	速度 80 km/h
	2車線 (自動車専用道路)

コスト	約 750 ~ 800 億円
-----	----------------

### ■ルート帯の概要

内容	・区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造等を採用し、新たな自動車専用道路を整備する。
----	---

### 〈B-B 付近のイメージ〉



凡例	
— (solid line)	供用中区間
- - - (dashed line)	事業中区間
— (red line)	一般国道(直轄国道)
— (orange line)	一般国道(補助国道)
— (yellow line)	一般県道
○ (circle)	市役所・町役場(支所)
● (red dot)	公共施設
● (yellow dot)	病院
● (orange dot)	防災拠点
● (green dot)	名勝・天然記念物
● (purple dot)	史跡
○ (circle with dot)	集荷場(農業協同組合)
● (circle with dot)	集荷場(漁業協同組合)
■ (pink square)	市街地(集落)
■ (blue square)	津波予測浸水域
■ (orange square)	地すべり危険箇所
■ (green square)	公園
■ (orange square)	鳥獣保護区

# 4. 対応方針(素案)の検討 (案③の概要)

## ○案③ 現道改良案



出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設  
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28四複、第36号)

### ■整備概要

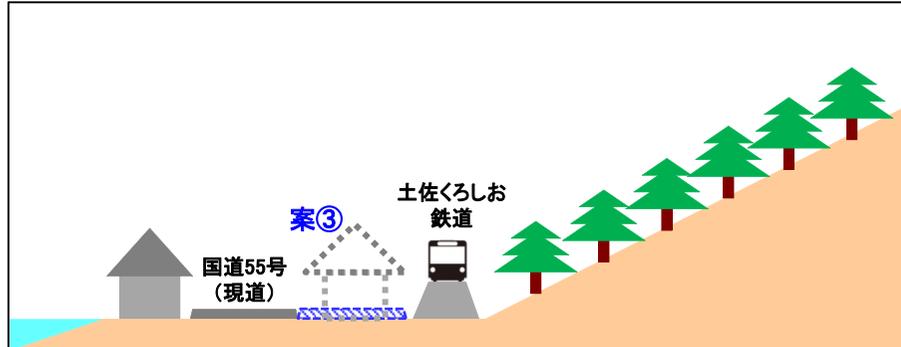
整備概要	延長 約 14 km
	速度 60 km/h
	2車線
	(一般道路)

コスト	約 50 ~ 100 億円
-----	---------------

### ■ルート帯の概要

内容	・現状の国道55号の急カーブ・道路幅等を改良する。
----	---------------------------

### 〈C-C 付近のイメージ〉



凡例	
—	供用中区間
---	事業中区間
—	一般国道(直轄国道)
—	一般国道(補助国道)
—	一般県道
○	市役所・町役場(支所)
●	公共施設
●	病院
●	防災拠点
●	名勝・天然記念物
●	史跡
○	集荷場(農業協同組合)
●	集荷場(漁業協同組合)
■	市街地(集落)
■	津波予測浸水域
■	地すべり危険箇所
■	公園
■	鳥獣保護区

# 4. 対応方針(素案)の検討(ルート帯案の概要及び比較)



- 案①** 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案
- 案②** 区間延長を極力短くしたバイパス案
- 案③** 現道改良案

凡 例					
	供用中区間		公共施設		津波予測浸水域
	事業中区間		病院		地すべり危険箇所
	一般国道(直轄国道)		防災拠点		公園
	一般国道(補助国道)		名勝・天然記念物		鳥獣保護区
	一般県道		史跡		集荷場(農業協同組合)
	市役所・町役場(支所)		市街地(集落)		集荷場(漁業協同組合)

名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料  
 公共施設：学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設  
 出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について公表資料に基づき作成  
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28四複、第36号)

# 4. 対応方針(素案)の検討(ルート帯案の概要及び比較)

○案①及び案②は、案③に比べ全ての政策目標の達成が見込まれるほか、地域への意見聴取結果で、重要との意見が多く寄せられた「国道55号の代わりとして利用できること」という点で優れている。  
 ○案①は案②に比べ、地域への意見聴取結果で重要との意見が多く寄せられた「災害発生時に、円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設と連絡できる」という点で優れている。

対策案の考え方		案① 市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案	案③ 現道改良案 (現状の国道55号の急カーブ・道路幅等を改良する案)	
評価項目		延長 約13km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約12km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約14km 60km/hで走行できる一般道路(2車線)	
政策目標	①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道55号の代替機能	国道55号の代わりとして利用できる	国道55号の代わりとして利用できる	現状の国道55号を改良するため、代わりとはならない
		地域の防災拠点への円滑な連絡の確保	円滑な連絡が確保できる (案②より連絡距離が短い)	連絡が確保できる	津波浸水影響を受けるため、連絡が確保できない
		避難路と連携した一時的な避難場所としての活用	避難場所として活用できる	避難場所として一部活用できる	津波浸水影響を受けるため、避難場所として活用できない
	②速達性・走行性の向上により産業振興を支援	市場までの輸送時間短縮・商品の品質確保(急カーブや信号交差点の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる (案②より集荷場からのアクセス性が優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる	輸送時間の短縮や商品の品質確保は、さほど見込めない
	③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる	時間短縮は小さく、立寄り箇所や滞在時間の増加は、さほど見込めない
④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現、走行性向上による交通事故の減少	医療施設までの搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少(急カーブや信号交差点の影響)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる (案②より集落からのアクセス性が優れる)	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少が見込まれる	搬送時間の短縮や患者への負担軽減、交通事故の減少は、さほど見込めない	
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
		植物への影響	影響の可能性はある	影響の可能性はある	影響の可能性はあるが小さい
	生活環境	集落などへの影響	小さい	小さい(案①より小さい)	大きい
		大気質及び騒音等の影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい (案①より小さい)	影響の可能性はある
重要な史跡等への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい		
その他	事業期間	建設に要する期間	長い(案②より短い)	長い	短い
	経済性	建設に要する費用	約600~650億円	約750~800億円	約50~100億円

### ○地域住民・企業等へのアンケート及び団体等へのヒアリングの結果

#### 【ルート帯案について】

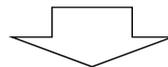
- アンケートでは、「国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」(70%)、「災害発生時の円滑な救命・救助活動を支援するため、地域の防災拠点施設と連絡ができること」(40%)が最も重要と思われる。
- 配慮すべき事項では「生活環境等(集落、田畑、大気質、騒音、史跡等)への影響が少ないこと」(82%)が最も重要と思われる。
- ヒアリングでは、「国道55号が災害や事故等で通行止めになった場合に、国道55号の代わりとして利用できること」(38団体)、「広域的な移動について時間短縮が図られること」(29団体)、「整備に要する期間が短いこと」(45団体)が最も重要と思われる。
- 意見交換会では「災害に強く国道55号の代わりになる道路」「時間短縮を図れる道路」を求める意見が多く寄せられた。

#### 【インターチェンジ位置について】

- アンケートでは、「地域の防災拠点と円滑に連絡できること」(92%)、「市街地(集落)と円滑に連絡できること」(91%)、「観光地や流通施設等と円滑に連絡できること」(84%)全ての項目が重要と思われる。
- アンケートの自由意見では「IC設置希望」(38件)を求める意見が多く寄せられた。
- ヒアリングでは、「地域の防災拠点と円滑に連絡できること」(26団体)が最も重要と思われる。
- 意見交換会では、「市街地(集落)と円滑に連絡できること」を求める意見が多く寄せられた。

#### 【その他】

- 意見聴取全般において、「新たな道路の早期整備」(272件)を求める意見が非常に多く寄せられた。
- 他に美しい太平洋の景観に配慮すべきとの重要な意見も寄せられた。(18件)



### ○ルート帯案とインターチェンジ位置の考え方

#### 【ルート帯案の考え方】

- 国道55号の代わりとして、災害や事故発生時に機能し、円滑な救命・救助活動を支援するため、地域の防災拠点施設と連絡ができるとともに、病院や流通施設まで早くスムーズに移動できる自動車専用道路によるバイパス案とする。

#### 【インターチェンジ位置の考え方】

- 地域の防災拠点施設、市街地(集落)、流通施設等と円滑に連絡できることに配慮した配置案とする。

#### 【その他】

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、自然環境や生活環境等への影響、整備期間の短縮、コスト縮減及び太平洋の美しい景観に配慮する。
- 地域の防災拠点施設との連絡方法、防災や観光の拠点となる休憩施設の整備について、今後、県及び町と連携して検討を行う。

# 4. 対応方針(素案)の検討

- 地域の課題である南海トラフ地震による津波発生時に、国道55号の代わりとして地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救助活動のアクセスを確保。避難場所としても活用できるとともに、地域の救急医療や産業及び観光振興を支援することのできる「案①市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案」とする。
- インターチェンジの配置においては、奈半利～安芸の起終点部(奈半利町、安芸市)以外に、地域の防災拠点施設や市街地(集落)、流通施設等と円滑に連絡できることに配慮した位置とする。

新たに自動車専用道路を整備する区間 約13km



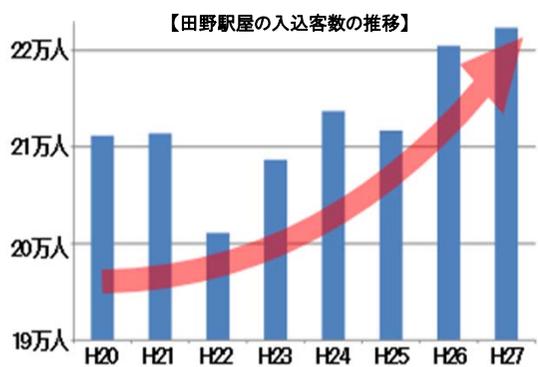
奈半利町・田野町・安田町の集落

# 4. 対応方針(素案)の検討(IC配置計画)

- 起点は国道55号と国道493号の分岐点となる「奈半利町」とし、終点は事業中の「安芸東IC」とする。
- 安田町付近:「安田町の市街地部及びゆず加工品出荷で有名な馬路村」へのアクセスを考慮し、ICが必要。
- 田野町付近:
  - ・平時は休憩施設も兼ねる道の駅「田野駅屋」へのアクセス、中芸消防や田野病院から高知方面医療施設への搬送としてICが必要。
  - ・南海トラフ大地震時には安田川大橋及び奈半利川橋の落橋が懸念されており、田野町への救急・救命活動支援のためにもICが必要。

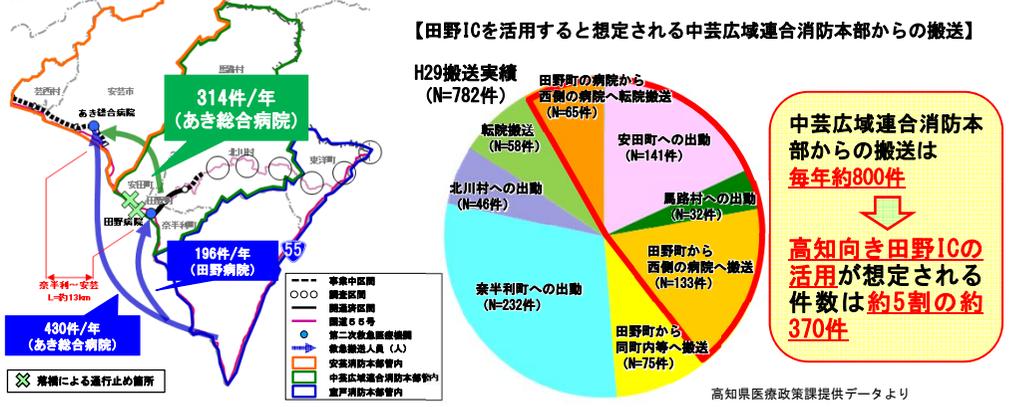


## ▼道の駅「田野駅屋」の入込客数の推移



出典:【平成20年～平成27年】県外観光入込・動態調査報告書

## ▼中芸地区・室戸市の管外搬送の状況



## 5. 自治体への意見照会結果

## 5. 自治体への意見照会結果(対応方針(素案)に対する意見)

### ■意見照会の回答

自治体	意見
高知県	<p>○計画段階評価における阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」の対応方針(素案)について、同意します。</p> <p>○阿南安芸自動車道は、四国8の字ネットワークを構成する路線であり、平常時には、県東部地域の農林水産物などの安定した出荷や医療機関への円滑な救急搬送など、地域経済の活性化を図り日々の安全で安心な暮らしを確保するとともに、災害時には、円滑な救援部隊の進出や緊急物資の輸送等を確保するために不可欠な社会基盤です。</p> <p>○とりわけ「奈半利～安芸」間については、南海トラフ地震の津波により国道55号が寸断されることが想定されており、地震や津波に対して信頼性が高い高規格道路が市街地との連絡性を優先したインターチェンジやルート帯案で整備されることにより、地域の防災拠点施設との円滑な連絡が強化され、沿線地域の防災力の格段な向上につながります。</p> <p>○県としましても、地域経済の活性化を支え県民の皆さまの安全で安心な生活に不可欠な四国8の字ネットワークの整備促進に向け、沿線自治体とも連携し全力で取り組んでまいりますので、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>

## ■意見照会の回答

自治体	意見
奈半利町	<p>阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における対応方針(素案)については異存ありません。</p> <p>1. 道路整備の必要性            阿南安芸自動車道は、観光客の誘致拡大や、物流の輸送効率が向上するなど地域観光・地域産業の発展に必要であり、また、災害時には緊急物資の円滑な輸送が可能となるなど、高知県東部地域全体の防災力の向上に大きく寄与するものと考えております。</p> <p>(1) ルート帯について            国道55号の代わりとして利用でき、地域の防災拠点と連絡ができる点で優れ、また生活環境への影響が少ないことにも優れており、「案①」が妥当と考えます。</p> <p>(2) インターチェンジ位置について            奈半利町のまちづくりと一体となって地域の産業振興や観光振興の促進が図られるものとなるよう検討をお願いします。</p> <p>(3) その他            奈半利町では、農林水産業を軸とした地域産業の振興と担い手確保に向け、加工施設の整備をし、特産品づくりなどに取り組んでおります。四国8の字ネットワークが繋がることにより、特産品の出荷先までの所要時間の短縮や、販路が拡大することで生産品の付加価値が高まるなど、地域経済への波及効果にも大いに期待しており、四国8の字ネットワークを活かした計画的なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。</p> <p>2. その他意見            今後、1日も早い事業化が図られるよう、奈半利町も関係機関との連携しながら協力してまいりますのでよろしくをお願いします。</p>
田野町	<p>1. 回答            阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」における対応方針(素案)については、異存ありません。</p> <p>(1) ルート帯について            『案①』が妥当と考えます。</p> <p>(2) インターチェンジ位置について            田野町においては、地域の防災拠点となる中芸消防署や救急病院、地域の交流拠点となる道の駅田野駅屋など多くの地域資源を有する強みを生かしたまちづくりを進めておりインターチェンジの設置は重要になります。このため詳細な検討にあたりましては本町の意見も踏まえていただき、将来に向けたまちづくりと一体となって地域の活性化につながるものとなりますようご配慮をお願いいたします。</p> <p>(3) その他            南海トラフ地震発災時には住民の生命・生活を守る『命の道』として、地域の防災拠点施設との円滑な連絡にご配慮をお願いいたします。</p> <p>2. その他意見            四国8の字ネットワークの早期整備のためにも、阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」につきましては、引き続き沿線の市町と連携し整備促進に向けて取り組ましますので、早期に事業化されますよう特段のご配慮をお願いいたします。</p>

## 5. 自治体への意見照会結果(対応方針(素案)に対する意見)

37

### ■意見照会の回答

自治体	意見
安田町	<p>1. 回答 阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における対応方針(素案)については、異存ありません。</p> <p>(1)ルート帯について 「案①」が妥当と判断いたします。</p> <p>(2)インターチェンジ位置について 本町は、日本遺産にも認定された中芸地域における西側からの玄関口であり、また、奥地には清流安田川流域の馬路村もあることから、インターチェンジが設置されることにより、地域防災機能の向上や広域観光面からも重要な役割を果たすうえ、本町基幹産業である農産物の出荷時間短縮等においても地域活性化が大きく期待されています。</p> <p>(3)その他 ルート・構造の検討にあたっては、清流安田川に代表される自然環境等への影響や整備期間の短縮にご配慮をいただくとともに、地域拠点施設との連絡方法等についても関係機関と連携してご検討いただきますようお願いいたします。</p> <p>2. その他意見 阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)の早期事業化と四国8の字ネットワークが1日でも早く全線開通されますよう本町としても全力で取り組んでまいりますので、特段のご配慮をお願いいたします。</p>
安芸市	<p>1. 回答 阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における対応方針(素案)については、異存ありません。</p> <p>(1) 道路の必要性 阿南安芸自動車道は高知県東部において、南海トラフ地震発生時には命をつなぐ「命の道」として、緊急輸送道路や復旧・復興のため国道55号の代替機能の役割を果たす路線であるとともに、地域の産業・観光振興に資する最も重要な路線と考えます。</p> <p>(2) インターチェンジ位置について 各地域の中心地近くにインターチェンジが配置される計画案となっており、産業・観光振興の面はもとより、防災面からも安心・安全なまちづくりにつながるなど、高い効果が得られることが期待できることから、妥当であると考えます。</p> <p>(3) ルート帯について 「案①」が妥当と考えています。</p> <p>(4) その他 整備期間の短縮を図り、自然環境や生活環境等への影響にもご配慮をお願いいたします。</p> <p>2. その他意見 四国8の字ネットワークの早期整備のため、安芸市としても全力で取り組んでまいりますので、「奈半利～安芸」間において早期事業化されますよう特段のご配慮をお願いいたします。</p>

## 5. 自治体への意見照会結果(対応方針(素案)に対する意見)

38

### ■意見照会の回答(高知県知事)

30 高道路第 688 号  
平成 31 年 2 月 6 日

国土交通省 四国地方整備局長 様

高知県知事 尾崎 正直 

( 道路事業の計画段階評価に係る意見照会について (回答) )

平素は、本県の道路行政の推進につきまして、格別のご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、平成 31 年 2 月 4 日付け国四整道計第 25 号で照会のありましたうえのことにつきまして、下記のとおり回答致します。

記

計画段階評価における阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」の対応方針(素案)について、同意します。

阿南安芸自動車道は、四国 8 の字ネットワークを構成する路線であり、平常時には、県東部地域の農林水産物などの安定した出荷や医療機関への円滑な救急搬送など、地域経済の活性化を図り日々の安全で安心な暮らしを確保するとともに、災害時には、円滑な救援部隊の進出や緊急物資の輸送等を確保するために不可欠な社会基盤です。

とりわけ「奈半利～安芸」間については、南海トラフ地震の津波により国道 55 号が寸断されることが想定されており、地震や津波に対して信頼性が高い高規格道路が市街地との連絡性を優先したインターチェンジやルート帯案で整備されることにより、地域の防災拠点施設との円滑な連絡が強化され、沿線地域の防災力の格段な向上につながります。

県としましても、地域経済の活性化を支え県民の皆さまの安全で安心な生活に不可欠な四国 8 の字ネットワークの整備促進に向け、沿線自治体とも連携し全力で取り組んでまいりますので、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

## ■意見照会の回答(奈半利町、田野町、安田町、安芸市)

30奈第3401号  
平成31年2月4日

四国地方整備局長 様

奈半利町長 竹崎 和伸 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成31年2月4日付け国四整道計第25号で照会のありましたことについて、下記のとおり回答いたします。

記

阿南安芸自動車道(奈半利～安芸)における対応方針(素案)については異存ありません。

1. 道路整備の必要性

阿南安芸自動車道は、観光客の誘致拡大や、物流の輸送効率が向上するなど地域観光・地域産業の発展に必要であり、また、災害時には緊急物資の円滑な輸送が可能となるなど、高知県東部地域全体の防災力の向上に大きく寄与するものと考えております。

(1) ルート帯について  
国道55号の代わりとして利用でき、地域の防災拠点と連絡ができる点で優れ、また生活環境への影響が少ないことにも優れており、「案①」が妥当と考えます。

(2) インターチェンジ位置について  
奈半利町のまちづくりと一体となって地域の産業振興や観光振興の促進が図られるものとなるよう検討をお願いします。

(3) その他  
奈半利町では、農林水産業を軸とした地域産業の振興と担い手確保に向け、加工施設の整備をし、特産品づくりなどに取り組んでおります。四国8の字ネットワークが繋がることにより、特産品の出荷先までの所要時間の短縮や、販路が拡大することで生産品の付加価値が高まるなど、地域経済への波及効果にも大いに期待しており、四国8の字ネットワークを活かした計画的なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

2. その他意見  
今後、1日も早い事業化が図られるよう、奈半利町も関係機関との連携しながら協力してまいりますのでよろしく申し上げます。

30田ま推第371号  
平成31年2月4日

国土交通省四国地方整備局長 様

田野町長 常石 博高 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成31年2月4日付け国四整道計第25号で照会のありましたうえのことにつきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 回答  
阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」における対応方針(素案)については、異存ありません。

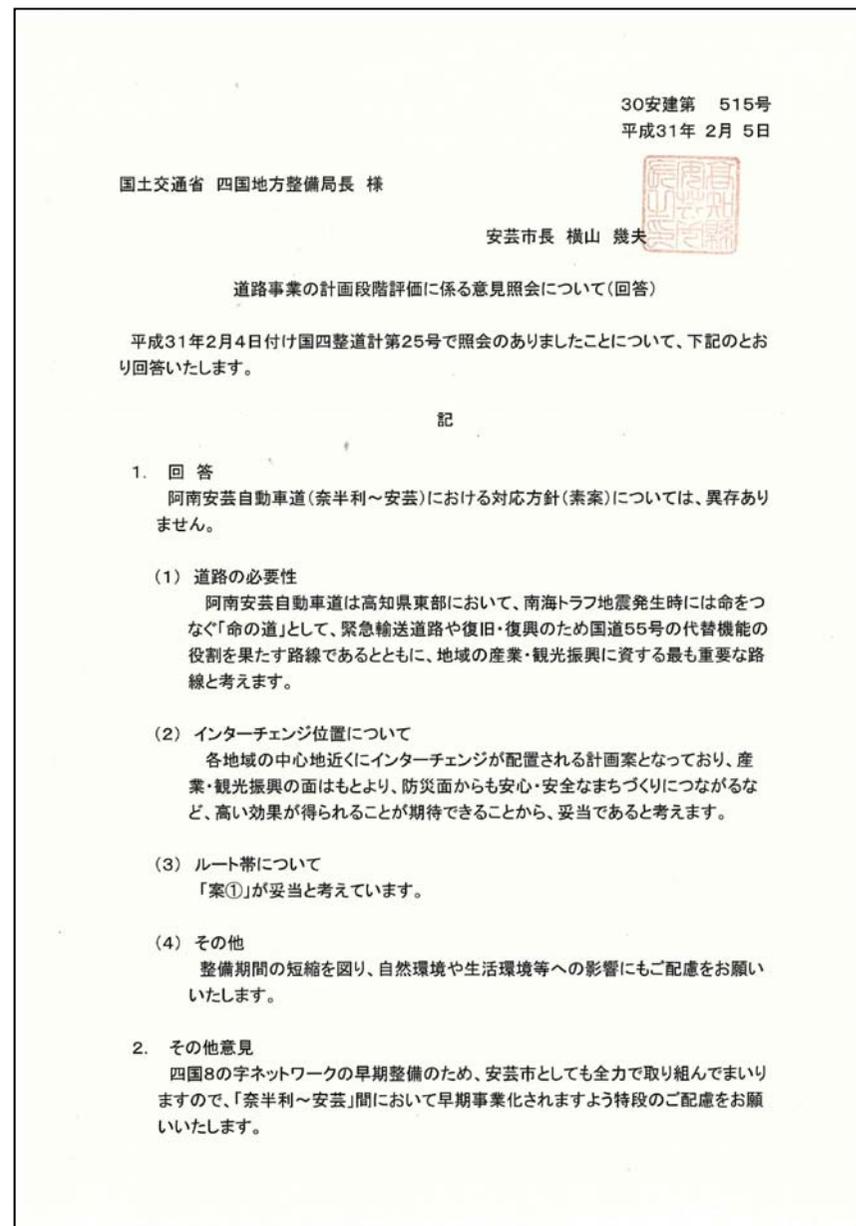
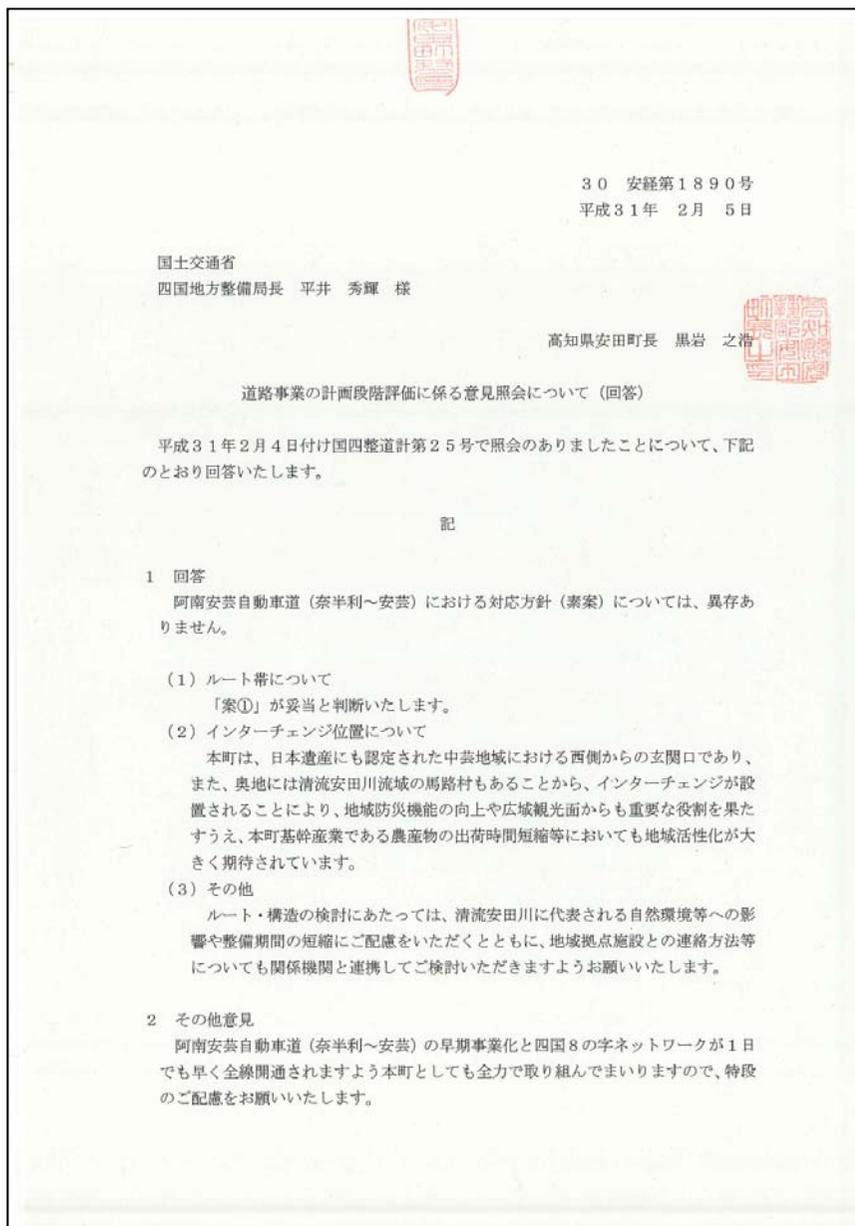
(1) ルート帯について  
『案①』が妥当と考えます。

(2) インターチェンジ位置について  
田野町においては、地域の防災拠点となる中芸消防署や救急病院、地域の交流拠点となる道の駅田野駅屋など多くの地域資源を有する強みを生かしたまちづくりを進めておりインターチェンジの設置は重要になります。このため詳細な検討にあたりましては本町の意見も踏まえていただき、将来に向けたまちづくりと一体となって地域の活性化につながるものとなりますようご配慮をお願いいたします。

(3) その他  
南海トラフ地震発災時には住民の生命・生活を守る『命の道』として、地域の防災拠点施設との円滑な連絡にご配慮をお願いいたします。

2. その他意見  
四国8の字ネットワークの早期整備のためにも、阿南安芸自動車道「奈半利～安芸」につきましては、引き続き沿線の市町と連携し整備促進に向けて取り組みますので、早期に事業化されますよう特段のご配慮をお願いいたします。

## ■意見照会の回答(奈半利町、田野町、安田町、安芸市)



## 6. 対応方針(案)のまとめ

## 1. 道路整備の必要性

政策目標を実現できる道路整備を検討

**【政策目標】**

- ①南海トラフ地震等に備えた信頼性の高いネットワークの確保
- ②速達性・走行性の向上により産業振興を支援
- ③地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援
- ④救急医療機関への速達性の向上や安静搬送の実現・走行性向上による交通事故の減少



- 当該地域は、南海トラフ地震発生時に津波により国道55号の約8割が浸水すると予測されている。また、豪雨や越波による通行止めが発生。
- 地震・津波発生時に地域の分断・孤立を解消、円滑な救命・救助活動のアクセスを確保。また、地域住民の安全性・利便性の向上及び産業・観光振興を支援するためには信頼性・速達性・走行性に優れた道路の整備が急務。
- 意見交換会でも、国道55号の代わりとして災害時に機能し、円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点と連絡ができるとともに、大きな病院、市場や観光地まで早くスムーズに移動ができる道路が重要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路の早期整備が強く望まれている。

## 2. 対応方針(案)

(1)ルート帯について

「案①市街地(集落)との連絡性を優先するバイパス案」を対応方針(案)とする。

**【理由】**

- 案①及び案②は、案③に比べ全ての政策目標の達成が見込め、「国道55号の代わりとして利用できること」という点で優れている。
- 案①は案②に比べ、「災害発生時に、円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設と連絡ができること」という点で優れており、日常はもとより、地震・津波などの災害発生時においても、信頼性・速達性・走行性・安全性に優れた道路ネットワークを形成することができる。

(2)インターチェンジ位置について

- 地域の防災拠点施設や市街地(集落)、流通施設等と円滑に連絡できることに配慮した配置案とする。

## 3. その他

- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、自然環境や生活環境等への影響、整備期間の短縮、コスト縮減及び太平洋の美しい景観に配慮する。
- 地域の防災拠点施設との連絡方法、防災や観光の拠点となる休憩施設の整備について、今後、県及び町と連携して検討を行う。

- 地域の課題である南海トラフ地震による津波発生時に、国道55号の代わりとして地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救助活動のアクセスを確保。避難場所としても活用できるとともに、地域の救急医療や産業振興を支援することのできる自動車専用道路を整備。
- インターチェンジの配置においては、奈半利～安芸の起終点以外に、地域の防災拠点施設や市街地(集落)、流通施設等と円滑に連絡できることに配慮した位置とする。

**新たに自動車専用道路を整備する区間 約13km**



出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間  
 H24.10「高知県版第2弾」南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成  
 名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会資料  
 公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設  
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28四複、第36号)